

**ASEAN6・BR・INの特許情報  
～新興国での侵害防止調査～**

**2016/12/07  
オリンパス株式会社  
アジア特許情報研究会  
中西 昌弘**

# **JP・US・EP特許の侵害防止調査**

# 侵害防止調査ステップ@JP・US・EP

## JP・US・EP特許の侵害防止調査ステップの一例

- ① データベース選択
  - ・ 調査のためのデータベースとして商用特許データベースを選択する
- ② 「特許分類」検索
  - ・ 「特許分類」を使用して調査対象の案件を絞り込む(集合②)
- ③ キーワード検索による絞り込みと補完
  - ・ 発明の名称・要約・請求項・詳細な説明のキーワードの検索により
    - ・ 集合②の更なる絞り込み
    - ・ 「特許分類」検索からもれた案件群の補完を実施し査読対象の案件群を確定する(集合③)
- ④ 査読
  - ・ 集合③の案件群の請求項・詳細な説明の読み込みにより権利範囲を特定することで、自社製品(技術)の他社特許への権利侵害有無を判定

- ⑤ 権利侵害の可能性が高いと判定された場合には
- ・ 他社特許を回避する
  - ・ 他社特許の無効化文献を調査する
  - ・ 他社特許の権利を購入する、あるいはライセンス契約を実施する
  - ・ 他社を買収する
- 等々の対応策を実施する

⑤の部分は今日のプレゼンテーションの対象外とします。

# データベース選択 @ JP・US・EP

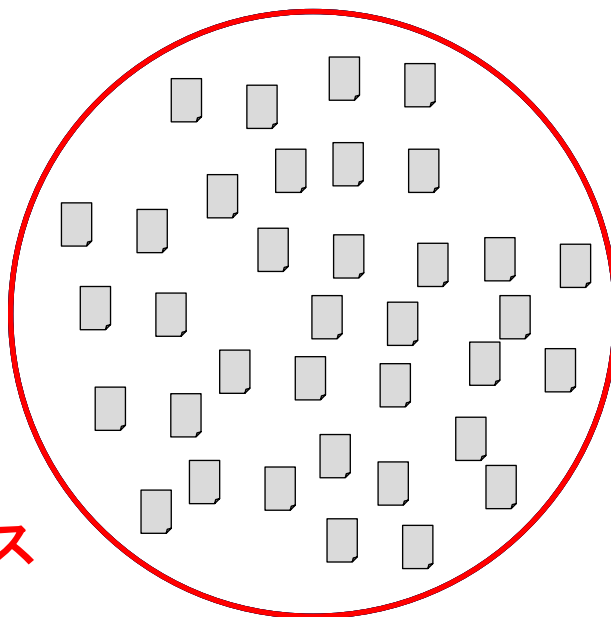
調査のためのデータベースとして商用特許データベースを選択する

① 実際に発行された案件

② 各国特許庁DB

③ DOCDB

④ 商用特許データベース

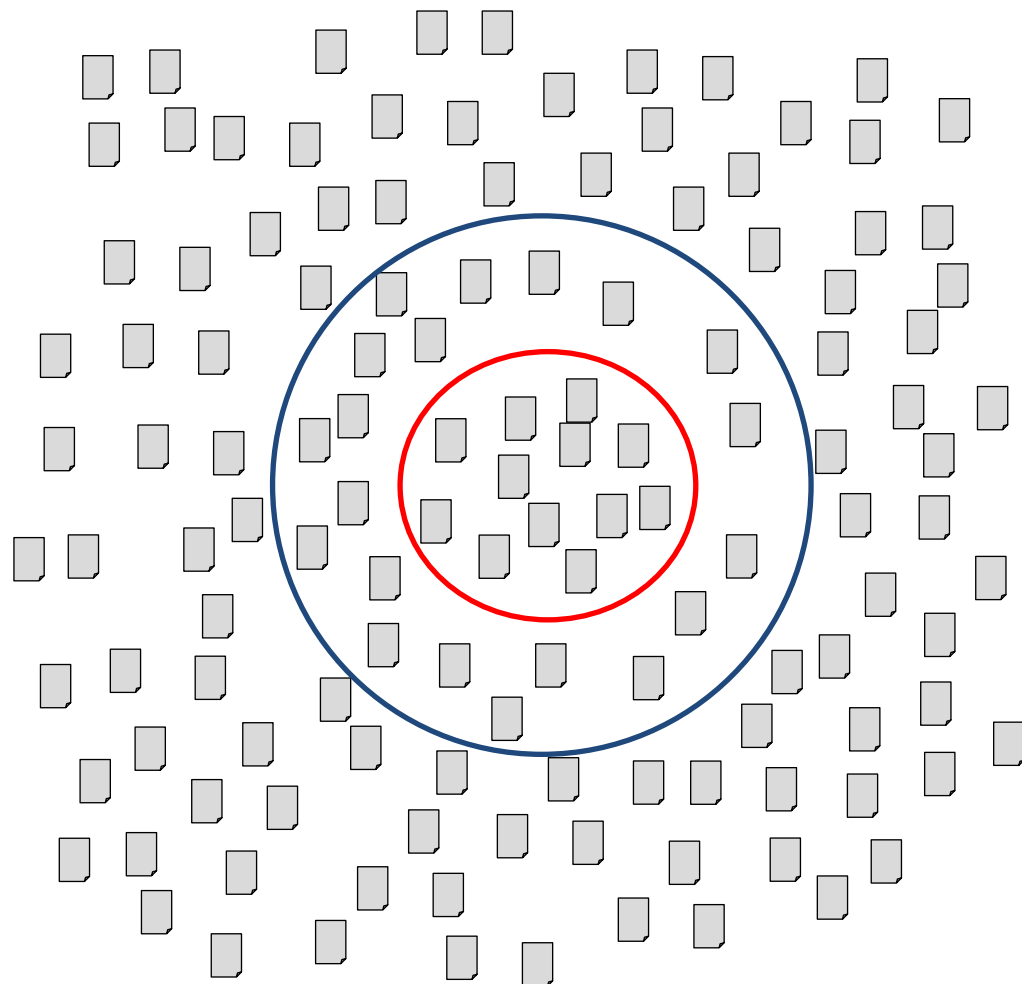


JP・US・EPでは4つの円は完全に重なっており、商用データベースに収録の問題がないことが経験上わかっています。操作性・検索性能を重視して、商用特許データベースを選択しています。

# 「特許分類」検索@JP・US・EP

JP特許を検索する際には、IPCだけでなくFI・Fタームを使用することで、対象案件を更に絞り込みます。US・EP特許の場合は同様にCPCを使用します。

商用データベースの中にはファミリーのJP特許に付与されたFI・Fタームを使用してUS・EP特許を検索できるものもあります。

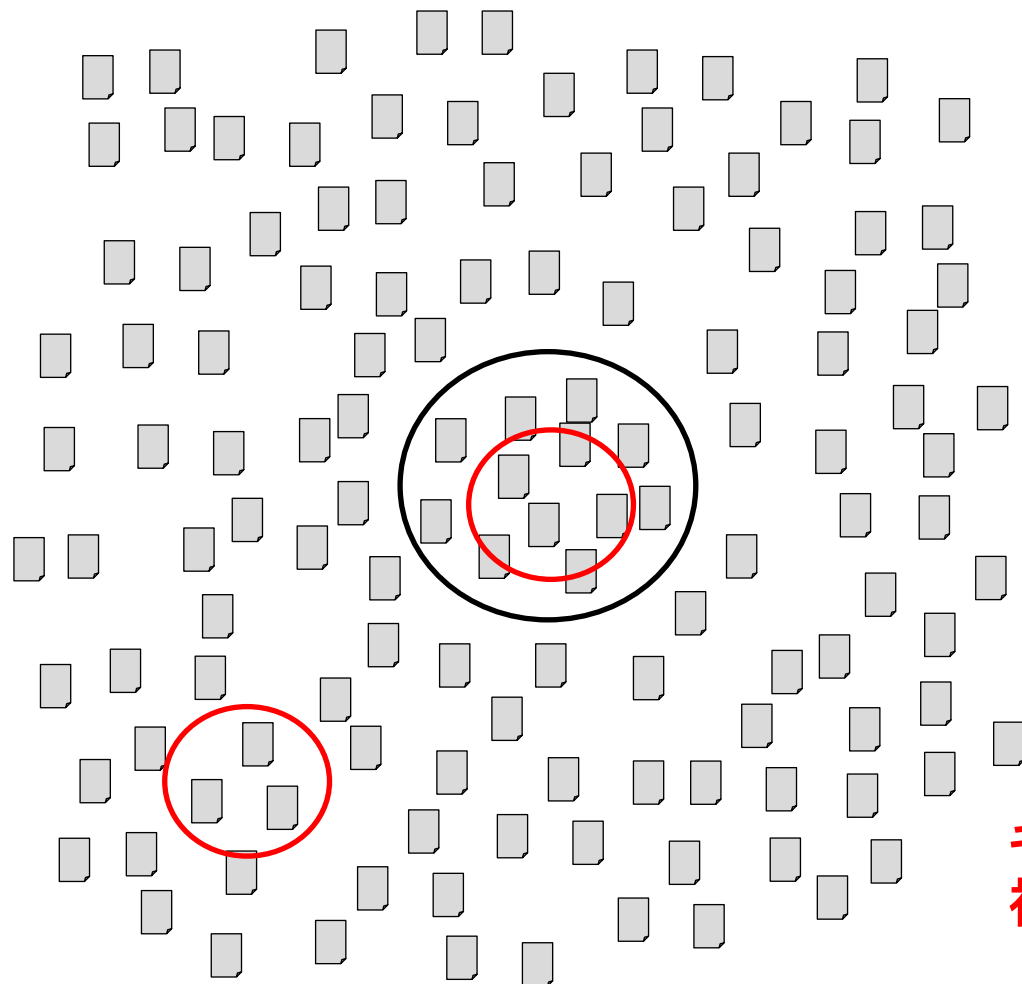


IPCによる絞り込み

FI・Fターム・CPC  
による絞り込み

# キーワード検索による絞り込みと補完 @ JP・US・EP

キーワード検索により集合を更に絞り込んだり、「特許分類」検索でもれてしまう案件群を補完します。



キーワード検索においても同様に、商用データベースではファミリー特許のキーワードを併用して検索できるものもあります。

特許分類による絞り込み

キーワード検索による  
絞り込み

キーワード検索による  
補完

機械検索により絞り込まれた案件群について請求項を読み込み、他社特許の権利範囲を特定します。このときには「発明の詳細な説明」も併用して、権利範囲特定の精度を高めることが多いです。



# **BR・IN・ASEAN6の侵害防止調査**

# データベース選択

 [SUMMARY PAGE](#)

# データベース選択 @ BR・IN・ASEAN6

3極 (JP・US・EP) とは違い、新興国では快適に調査できるDBが存在しない。

## ① 実際に発行された案件

## ② 各国特許庁DB

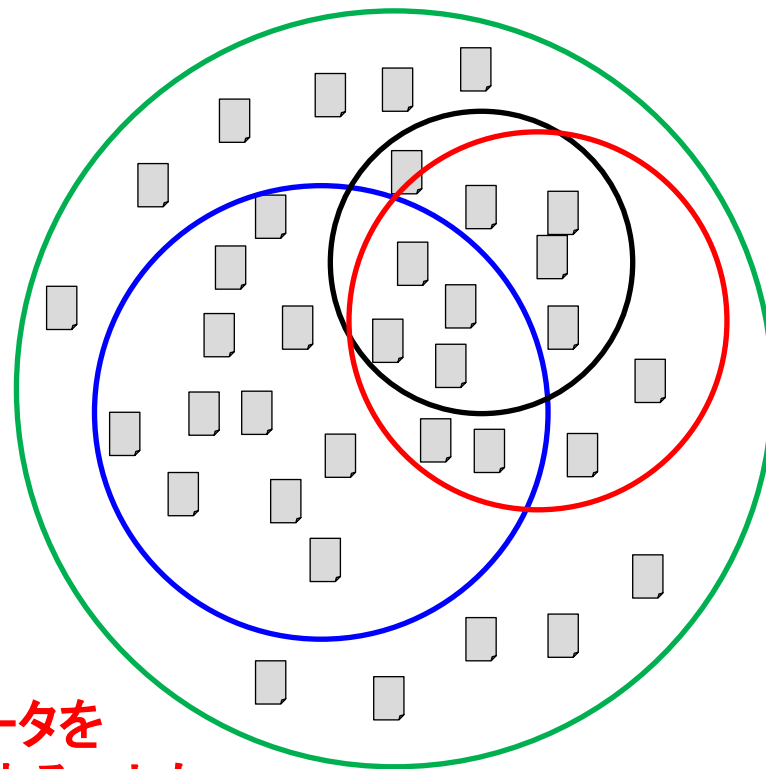
→ 発行された案件が全て収録  
されていないことも多々

## ③ DOCDB

→ DOCDBに十分なデータが  
提供されない

## ④ 商用データベース

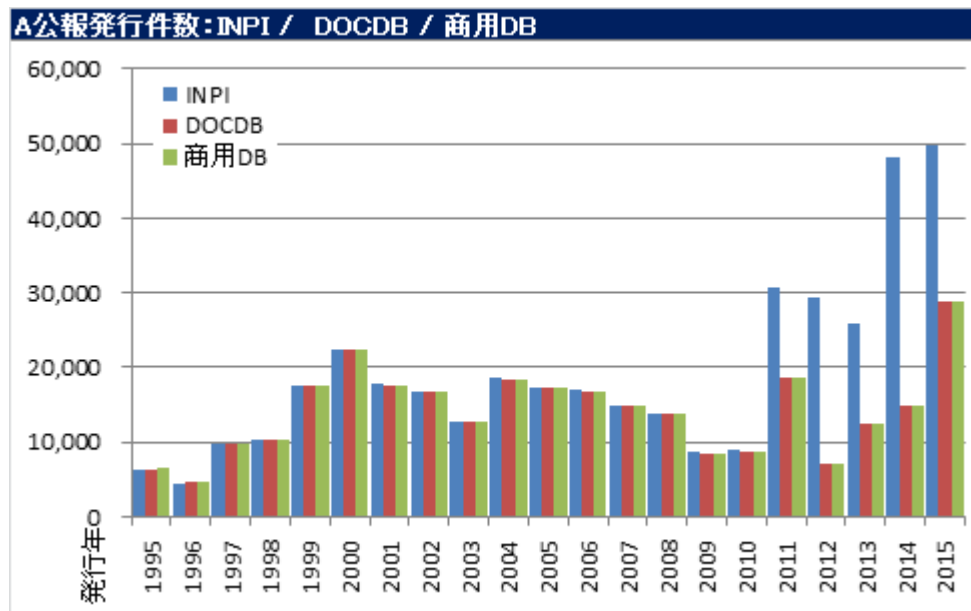
→ DOCDB以外の情報源からデータを  
購入し独自の付加価値を実現することも





右図はINPI(特許庁DB)・DOCDB  
(Espacenet)・ある商用DBの、BR公  
開特許の収録件数を公報発行年別  
にグラフ化したもの。

1995～2010年まではINPIに収録され  
た案件のほぼ全てがDOCDBに収録  
されている。2011年以降はINPIにし  
か収録されていない案件数も目立っ  
ているが、詳細な分析は未実施。



大半の商用DBはDOCDBを情報源としており、DOCDBにさえ収録されれば検  
索性能の高い商用DBでの調査が可能。さらにファミリー特許に付与された特  
許分類や、ファミリー特許のキーワードを併用した検索も可能。BR特許の調査  
には商用DBの使用が適切と考える。

この観点ではBR特許は調査しやすい環境が実現されていると言える。是非今  
後もDOCDBへのデータ提供を続けていただきたい。



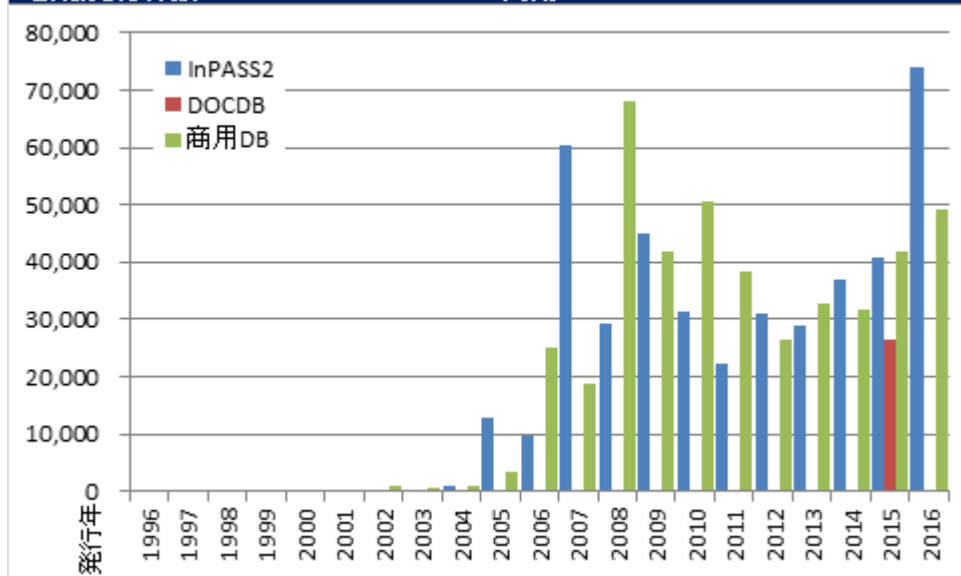
続いてインド。InPASS2(特許庁DB)・DOCDB・商用DBの公開特許収録件数比較を右上のグラフに、登録特許件数を右下のグラフに示す。

INについてはDOCDB情報は期待できない。この商用DBベンダーはDOCDB以外の独自ルートから情報を購入しているものと想定される。

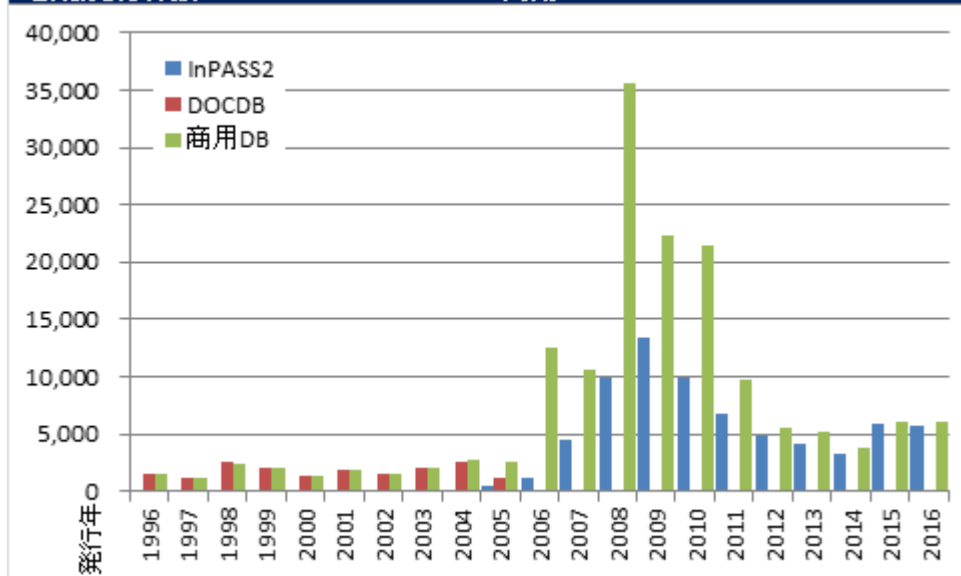
商用DBの収録がInPASS2収録を大幅に上回っている年もあれば、その逆も確認される。古い登録特許はInPASS2には収録されていない。

調査においては、InPASS2と商用DBを併用して網羅性を高める必要あり。

A公報発行件数:InPASS2 / DOCDB / 商用DB



B公報発行件数:InPASS2 / DOCDB / 商用DB

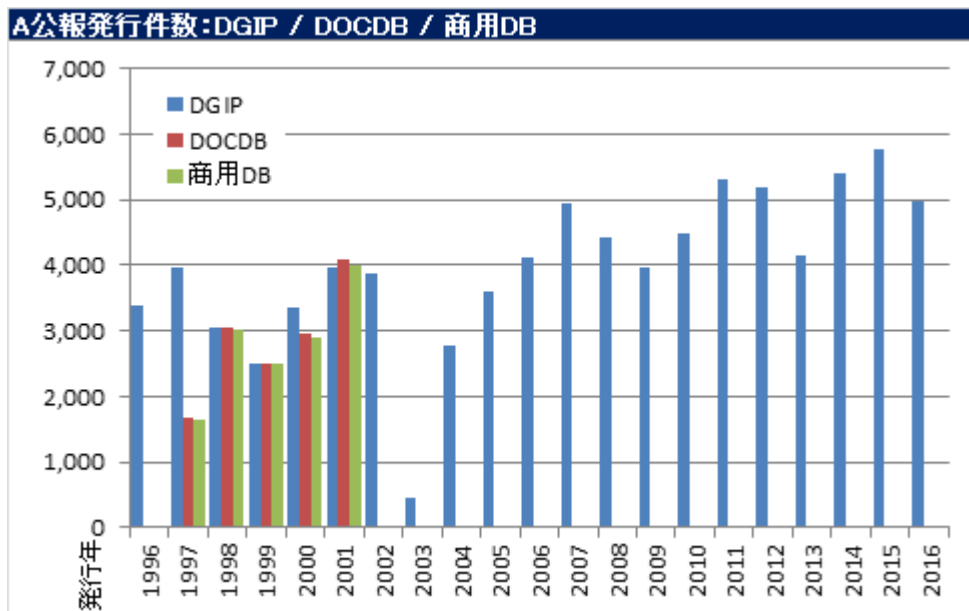




右図はDGIP・DOCDB・商用DBの、公開特許の収録件数を公報発行年別にグラフ化。

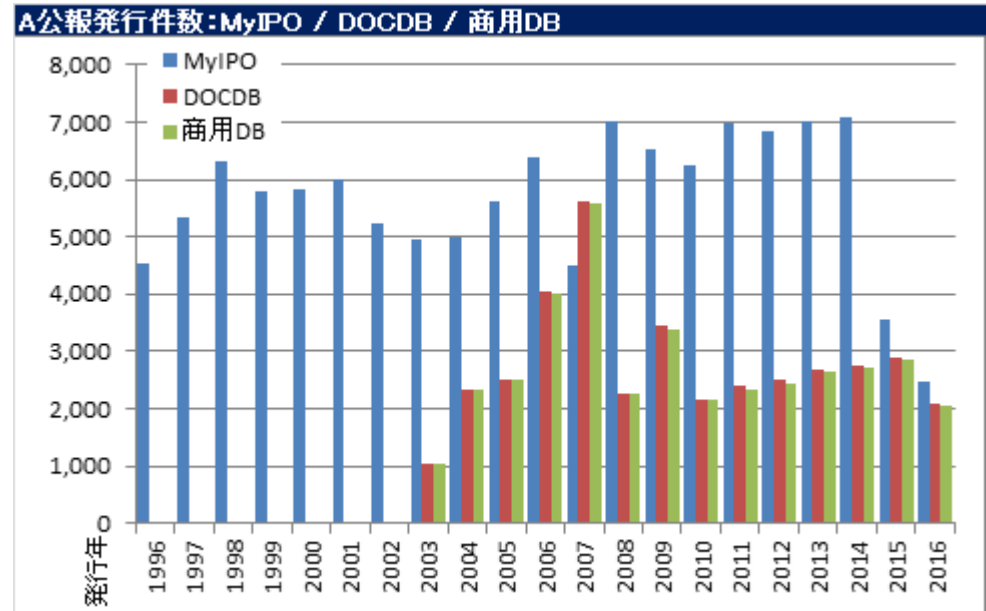
1998～2001年発行案件はDOCDBに収録されているが、他は全く収録されていない。この商用DBはDOCDB以外に情報源を持っていないようす。

このことからID特許を調査するにはDOCDB・商用DBでは力不足であり、DGIPシステムを使用せざるを得ないことがわかる。



右図はMyIPO・DOCDB・商用DBの、公開特許の収録件数を公報発行年別にグラフ化。

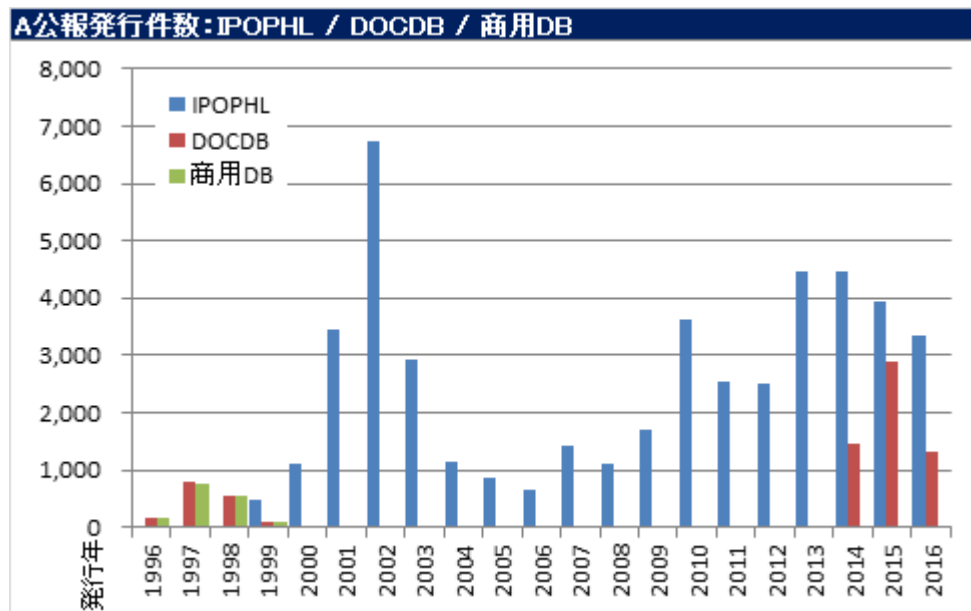
2002年以前に発行された案件はDOCDBには収録されていない。その後も収録件数はMyIPOの半分程度。この商用DBはDOCDB以外に情報源を持っていない。



MYにおいても、DOCDB・商用DBでは力不足であり、MyIPOシステムを使用せざるを得ない。

右図はIPOPHL・DOCDB・商用DBの、公開特許の収録件数を公報発行年別にグラフ化。

2014年頃からDOCDBへの収録が「再開」されたようであるが、その前の十数年間は収録が途切れている。この商用DBはDOCDB以外に情報源を持っていない。



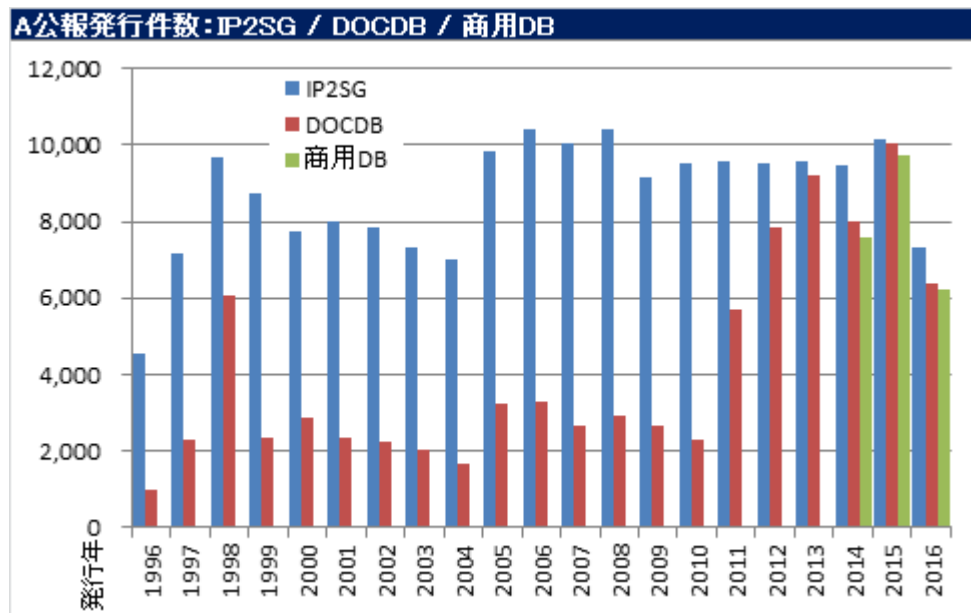
PHでもDOCDB・商用DBでは十分な特許調査を実施するためには力不足。一方IPOPHLも2004～2009年の件数が非常に少なく、収録に疑問を感じる状況。





右図はIP2SG・DOCDB・商用DBの、公開特許の収録件数を公報発行年別にグラフ化。

全期間に渡ってDOCDBには収録されているが、件数はIP2SGの1/3程度のレベル。この商用DBも2014年頃からDOCDB案件の収録を開始した模様。



やはりSGでもDOCDB・商用DBでは十分な特許調査を実施するためには力不足。IP2SGシステムによる調査が必須。

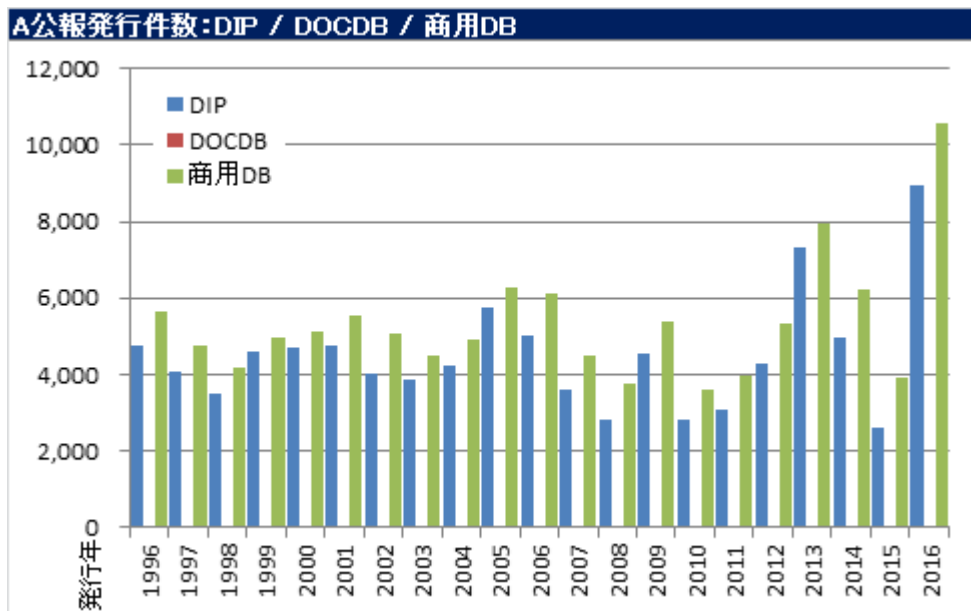


右図はDIP・DOCDB・商用DBの、公開特許の収録件数を公報発行年別にグラフ化。

DOCDBに収録された件数は全期間で僅か11件だけ。THについては、この商用DBはDOCDBとは別の情報源からデータを収集しているようす。

詳細は後述するがDIPシステムの収録率はほぼ100%であることがわかっている。然るに各年の商用DBの収録件数がDIPを上回っているというのは、何らかのノイズが含まれているものと思われる。特許と実案(小特許)を区別出来ていない可能性あり。

この商用DBならばTH案件の調査には十分な威力を発揮する。しかし情報源をDOCDBだけに頼っている商用DBしか使えない場合にはDIPでの調査が必須。

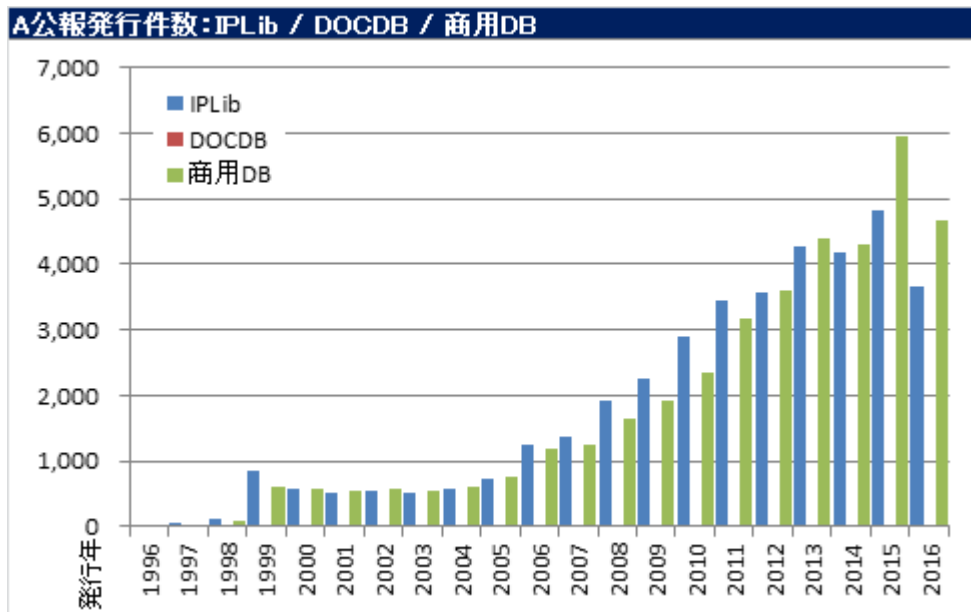












右図はIPLib・DOCDB・商用DBの、公開特許の収録件数を公報発行年別にグラフ化。

VNもTH同様にDOCDBの収録が悪く、図の20年間の収録件数は僅か94件だけ。VNについても、この商用DBはDOCDBとは別の情報源からデータを購入しているようす。おそらくDOCDBの収録が悪い国について、独自の情報源を持つことで、他の商用DBより優位に立つことを狙っていると想定される。

VN案件も、この商用DBならば十分な調査が可能と思われる。しかし情報源をDOCDBだけに頼っている商用DBしか使えない場合にはIPLibでの調査が必須。



# データベース収録まとめ

	BR	DOCDBにデータが提供され商用DBの収録も問題なし
	IN	InPASS2と商用DBを併用して網羅性を高める必要あり
	ID	DOCDB・商用DBでは力不足、DGIPシステムを使用すべき
	MY	DOCDB・商用DBでは力不足、MyIPOシステムを使用すべき
	PH	DOCDB・商用DBでは力不足、IPOP HLにも疑問あり
	SG	DOCDB・商用DBでは力不足、IP2SGシステムを使用すべき
	TH	DOCDB・商用DBでは力不足、DIPシステムを使用すべき
	VN	DOCDB・商用DBでは力不足、IPLibシステムを使用すべき

商用DBで特許調査が可能なのはBRだけ。

アジア諸国の特許情報はDOCDBには十分に収録されず、DOCDBだけを情報源とする商用DBも特許調査には耐えられない。

# ASEAN6収録率推定

 **SUMMARY PAGE**

# 出願番号密度 @ ASEAN6

真の発行件数がわからない状態で「特許庁システム」の収録の確からしさを推測するために、次のような「指標」を取り入れてみました。IDのPCT国内移行案件を例にとって説明します。

	A
1	W00201300001
2	W00201300002
3	W00201300003
4	W00201300005
5	W00201300007
6	W00201300008
7	W00201300009
8	W00201300010
9	W00201300011
10	W00201300012
11	W00201300013
12	W00201300015
13	W00201300016
14	W00201300017
15	W00201300018
5906	W00201306123
5907	W00201306124
5908	W00201306125
5909	W00201306126
5910	W00201306127
5911	W00201306128
5912	W00201306129
5913	W00201306130
5914	W00201306131
5915	W00201306132

◀ 左図のように「W002013」で始まる案件を全てリストアップ  
◀ します。出願番号が付与された後、公開前に取り下げになった案件が欠番(◀)になります。

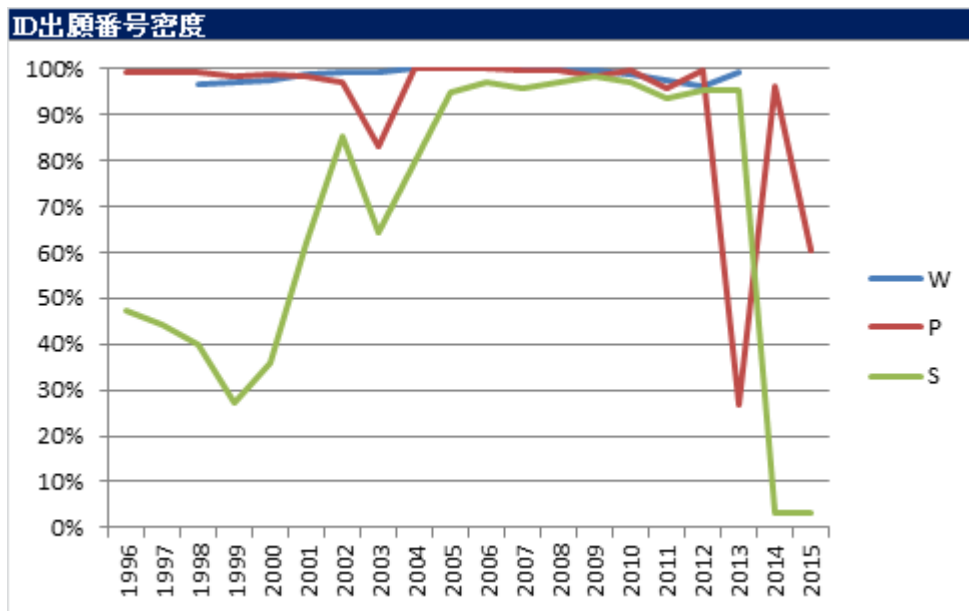
◀ この例では「W002013」の案件の最大の連番が6132であって総件数が5915件。よって「W002013」の出願番号密度を96.5%( $=5915 \div 6132$ )と定義します。

同国のDB収録基準や公開前取り下げの比率も不明であり出願番号密度の単年度の絶対値は、さほど大きな意味を持ちません。しかし各年度の出願番号密度の推移を調べると、「収録の確からしさ」を推測することができます。



図はPCT国内移行特許(W)・その他特許(P)・実用新案(S)の出願番号密度をグラフ化したもの。

その他特許において願番年号2003の若干の密度低下が確認される。願番年号2013の大きな落ち込みは、P0020030783の次の番号が・・・4391と、巨大なギャップが存在することが原因。収録の欠落なのか、願番付与の仕組み変更が原因なのかは不明。



PCT国内移行特許(W)については、ほぼ100%の密度を保っている。実用新案(S)については2005年以前の密度が低いが、権利期間外であり大きな問題ではないと考える。

この結果から同国のシステムは特許調査を実施するために十分な収録率であると判断する。

	A
1	P00201300001
2	P00201300002
3	P00201300003
4	P00201300004
...	...
745	P00201300779
746	P00201300780
747	P00201300781
748	P00201300782
749	P00201300783
750	P00201304391
751	P00201304392
752	P00201304393
753	P00201304394
754	P00201304395
755	P00201304396
756	P00201304397



しかし同国の検索サイトには大きな問題が存在する。同国では2013年12月にサイトをフルモデルチェンジ(DGIP2013)したあと2015年4月(DGIP2015)・2016年1月(DGIP2016)と更新を繰り返しているが、検索結果の件数が安定していない。

下表は出願番号がWで始まるPCT国内移行特許、Pで始まるPCT以外の特許、Sで始まる小特許(実案)の検索結果の件数を調査した結果。調査するたびに件数が増減する。DB検索用インデクスが正しく生成されていないものと思われる。是非改善をお願いしたい。

前ページの結果は、過去に一度でも検索にヒットした案件の出願番号を分析したものの。

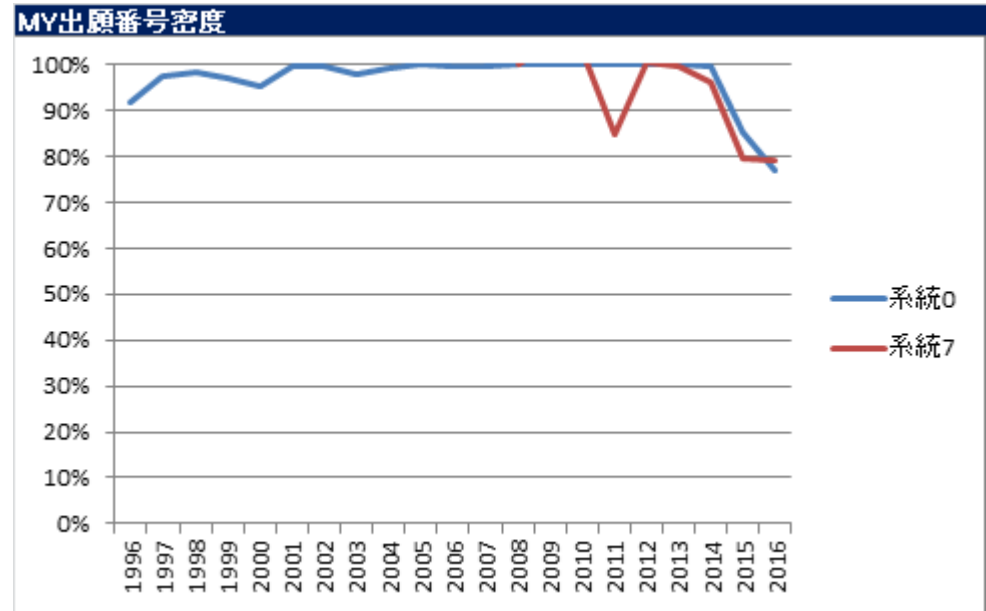
Database	検索日	W:PCT	P:その他	S:実案
DGIP2013	2014/1/15	56,312件	36,718件	3,616件
DGIP2013	2015/3/31	45,448件	29,847件	2,897件
DGIP2015	2015/5/3	34,172件	23,942件	2,079件
DGIP2015	2015/8/13	44,426件	31,702件	2,460件
DGIP2015	2015/10/19	44,556件	31,652件	2,470件
DGIP2016	2016/1/23	39,223件	22,958件	2,495件
DGIP2016	2016/5/6	39,905件	24,217件	2,463件
DGIP2016	2016/9/17	50,205件	39,520件	3,320件





# 収録率推定 @ MY

MYでは実用新案制度が採用されているが、特許・実案それぞれの出願番号連番が独立していない。このため特許と実案をまとめて出願番号密度を算出した。また同国では2008年以降は願番最上位桁が“0”で始まる案件(系統0)と“7”で始まる電子出願案件(系統7)が存在する。



グラフは「系統0」と「系統7」について願番年号ごとの出願番号密度を集計したもの。

2011年の系統7に若干の密度低下が確認されるが、それ以外はほぼ100%を保っており、同国のサイトは特許調査を行うために十分な収録率であると判断する。

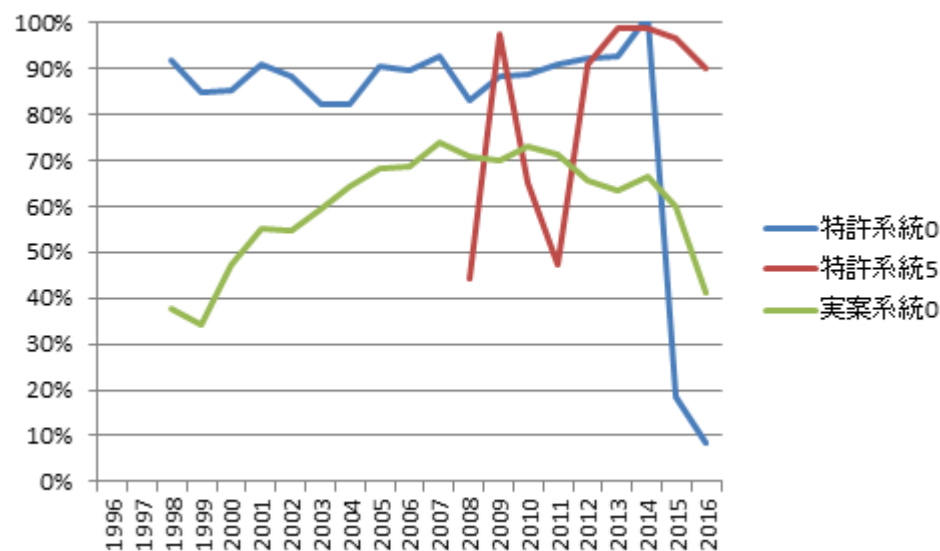


右は出願番号連番最上位桁が“0”で始まる特許(特許系統0)・“5”で始まる特許(特許系統5)・“0”で始まる実案(実案系統0)の願番号ごとの出願番号密度をグラフ化したもの。実案系統5も存在するが件数が僅かであるためグラフ化から除外した。

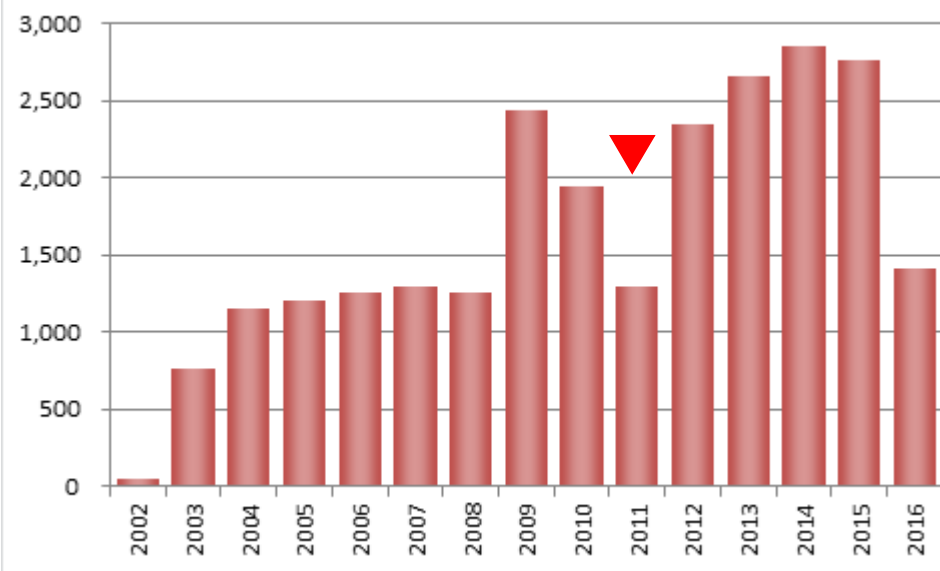
2011年の「特許系統5」に大きな落ち込みが確認される。下のグラフは「特許系統5」の収録件数絶対値。願番号2011の案件収録数が大きく低下している。収録欠落の疑いがある。是非詳細に調査していただきたい。

「特許系統0」はほぼ安定、「実案系統0」も権利期間内では、ほぼ安定している。

### PH出願番号密度



### PH出願番号密度





SGでは2014年から出願番号形式が変更された。右は旧形式・新形式それぞれの出願番号密度をグラフ化したもの。2007年に大きな落ち込みが確認される。



	B	C
1	出願番号	
2	200700001	
3	200700002	
6783	.....	
6784	200706865	
6785	200706867	
6786	200706868	◀
6787	200708346	
6788	200708347	
6789	200708348	
6790	.....	
7253	200709053	
7254	200709054	▶
7255	200709440	▶
7256	200709588	▶
7257	200710849	▶
7258	200716285	
7259	200716287	
7260	.....	
9937	200719161	
9938	200719162	
9939	200719163	
9940		

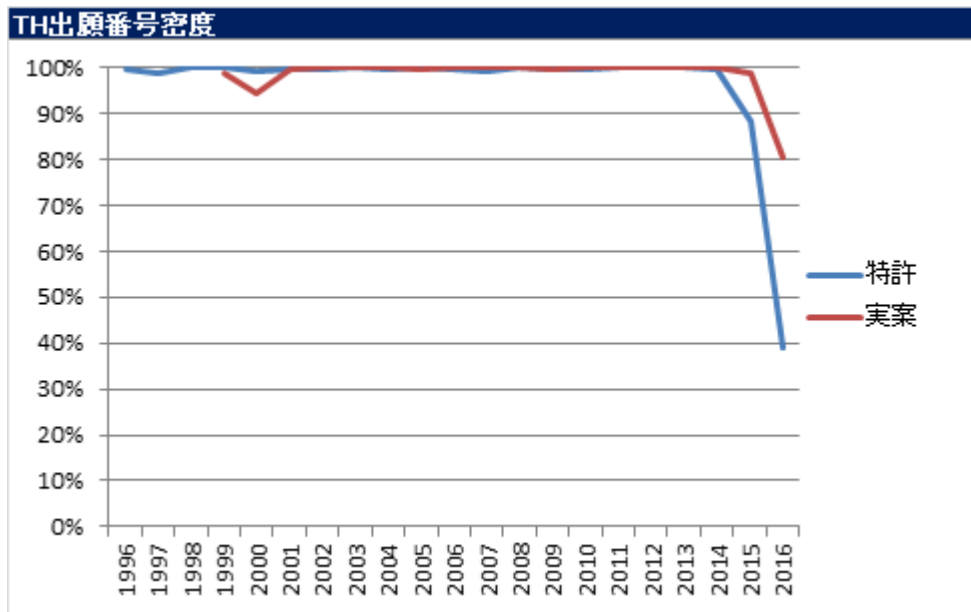
左は願番年号が2007の案件をリストアップしたもの。◀部分に大きなギャップがある。この年の収録が欠落しているのか願番付与自体にギャップがあるのかは不明。IPOSには調査をお願いしたい。

2006～2008年の収録件数絶対値が大きく変動していないことから、収録の欠落ではない可能性が高い。この年以外の収録には問題がなく、IP2SGシステムは特許調査を行うために十分な収録率と考える。



右は特許・実用新案のそれぞれについて、願番号ごとの出願番号密度を集計したもの。

DIPサイトには出願後の取り下げにより公開に至らなかった案件も過去20年にわたって全て収録されているようす。

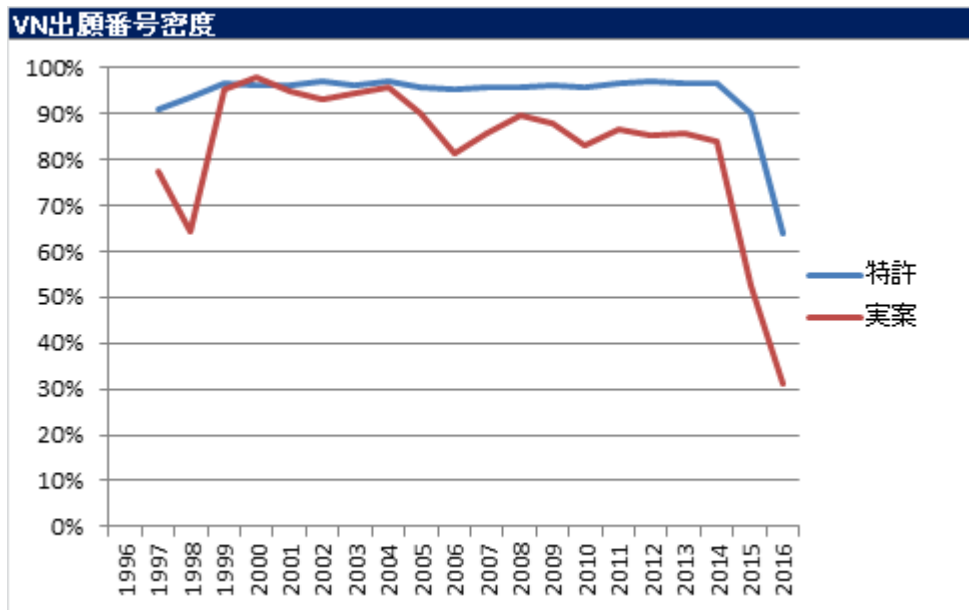


同国のシステムは特許調査を実施するために完璧な収録率であると判断する。









右はIPLibに収録された特許・実用新案のそれぞれについて、願番号ごとの出願番号密度を集計したもの。

特許については過去20年にわたって95%程度の出願番号密度を保っている。実案については2006年を境として、若干密度が低下しているが、2006年以前・以降それぞれで安定しており、何らかの仕組み変更の影響とも考えられる。



IPLibシステムは特許調査を実施するために十分な収録率であると判断する。

# 収録率まとめ @ ASEAN6

	ID	DGIPシステムの収録率は問題なさそう しかしDGIP検索エンジンには大きな問題あり
	MY	MyIPOシステムの収録率は問題なさそう
	PH	出願番号年号2011の案件の収録に疑いあり
	SG	IP2SGシステムの収録率は問題なさそう
	TH	DIPシステムは完璧な収録率
	VN	IPLibシステムの収録率は問題なさそう

特許情報の情報源は各国知財庁。完全な情報収録を期待したい。

# 「特許分類」検索

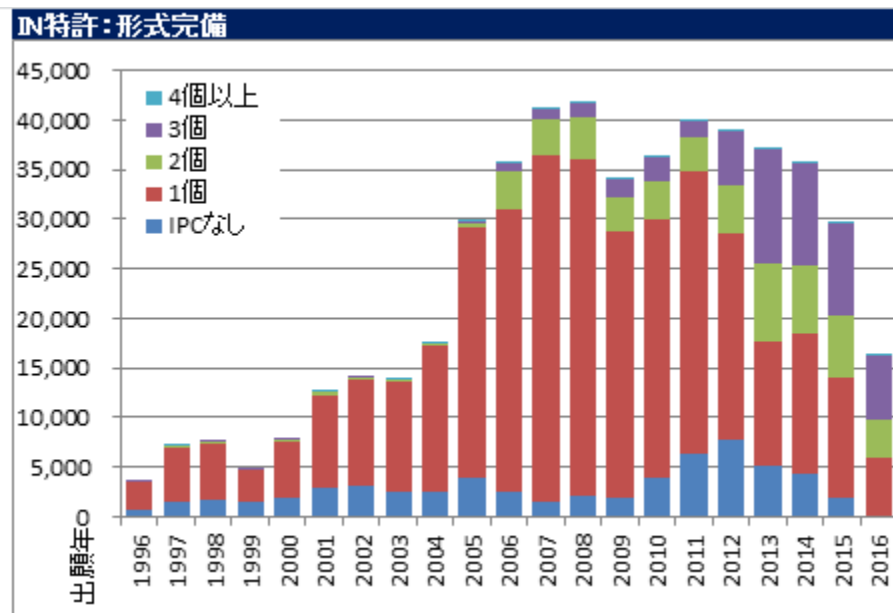
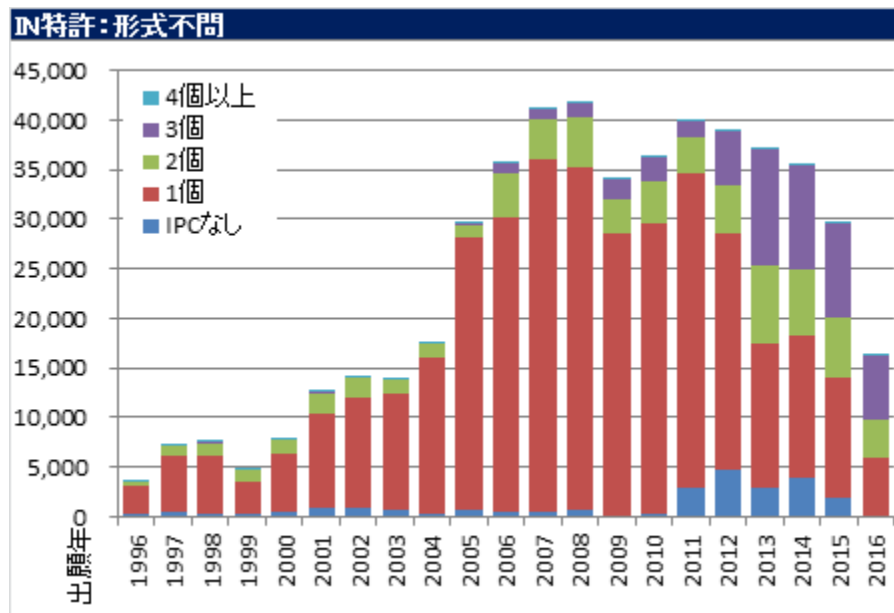
 [SUMMARY PAGE](#)

## 「特許分類」検索@IN・ASEAN6

BR特許は、ほぼ全てがDOCDBにデータ提供されており、商用DBでの調査が可能。さらに商用DBならではのファミリー特許併用調査を実施可能であり、これ以降の調査性能評価の対象から除外する。

対象の7か国では出願された特許にFI・Fターム・CPCは付与されておらず、特許分類コードとしてIPCだけを駆使して、調査対象案件を絞り込む必要がある。ここでは各国サイトに収録されたIPC情報が、絞り込みのために十分な効果を発揮するかどうかを推定する。

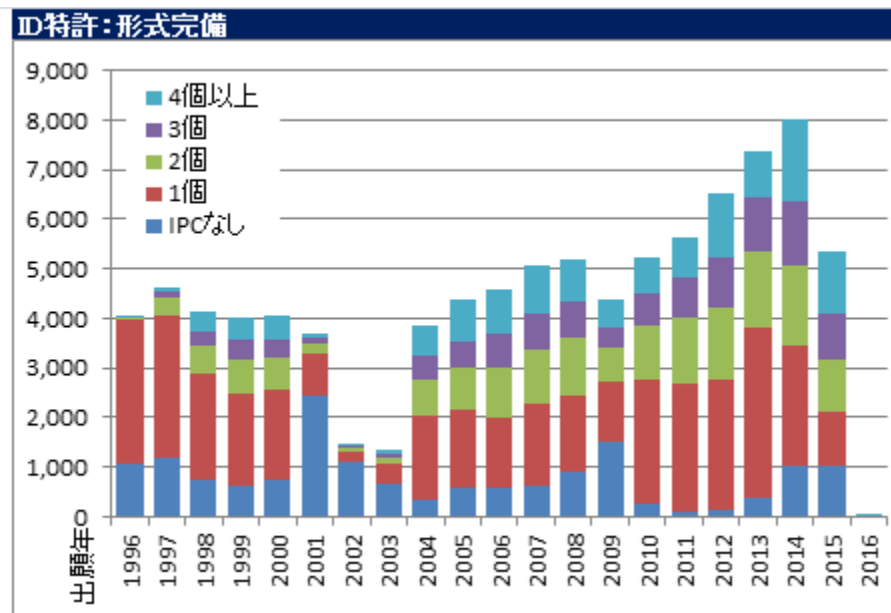
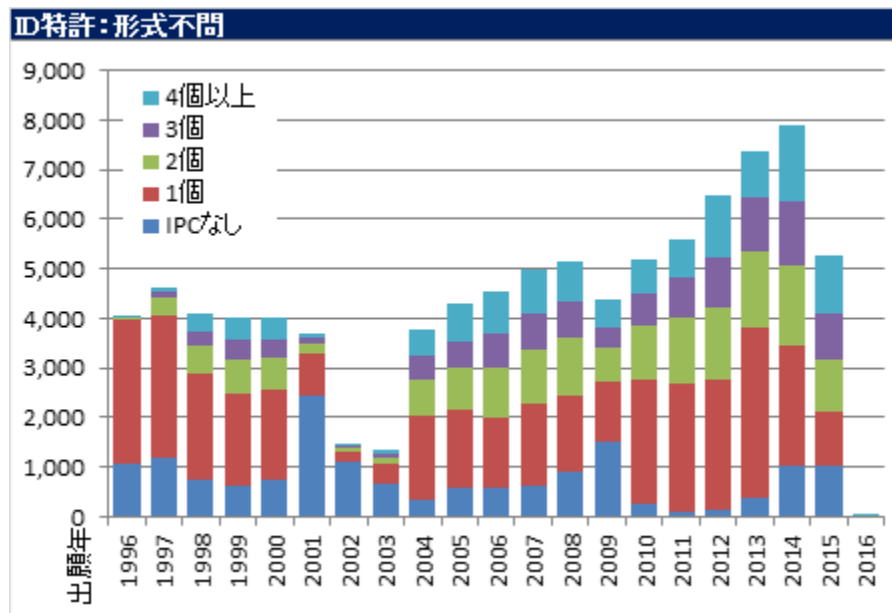




図はInPASS2に収録された公開特許について、各案件に付与されたIPCの個数分布をグラフ化したもの。右はセクションからサブグループまでが完備したものだけを計数し、左はサブグループまで全て揃っていない場合でも計数したもの。

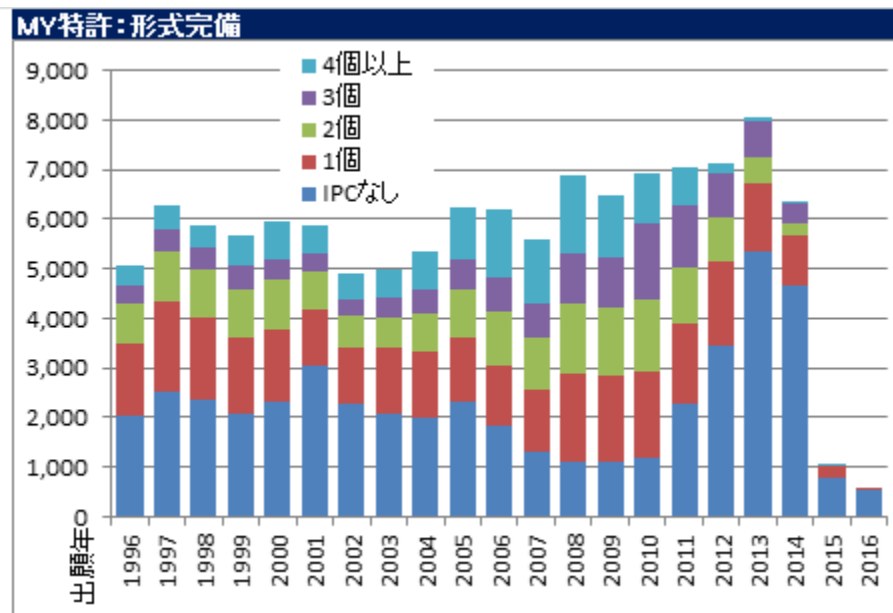
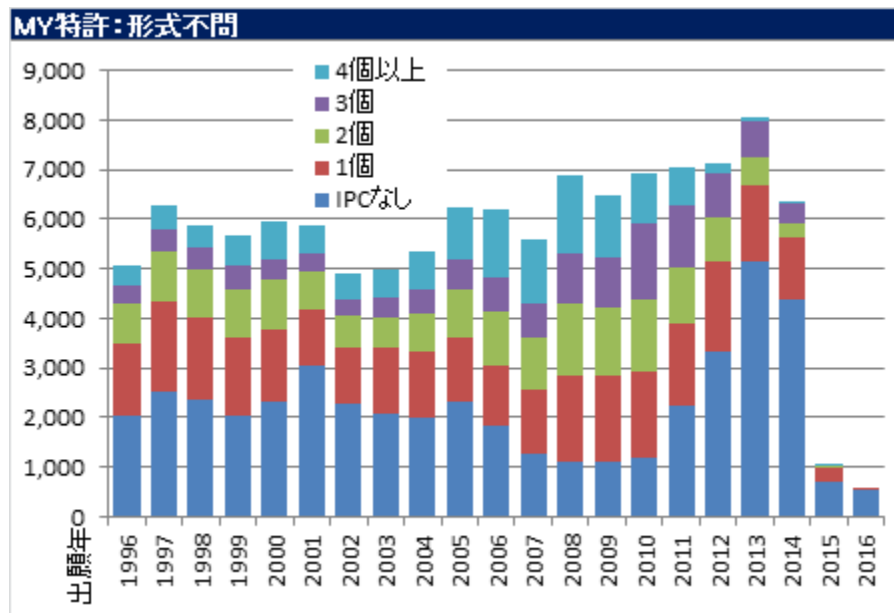
左に比べて右のグラフ下部の青バーが目立っている。これは全パーツが完備していないIPCの存在を意味している。これではIPCによる十分な絞り込みは難しい。

2013年出願案件以降、複数のIPCが付与される案件が増えていることは喜ばしい傾向。



前ページ同様にDGIPシステムに収録された全特許について付与されたIPC個数を集計したもの。右側が全パーツ完備を計数条件としたもの。

左右のグラフに差が見られず、IDについては付与されたIPCのほぼ全てがサブグループまで完備したコードであることがわかる。一方IPCが付与されていない案件も無視できない比率で存在。特に2001年出願案件は半数以上にIPCが付与されていない。これではIPCを使用した十分な絞り込みは難しいレベル。全件へのIPC付与を期待したい。

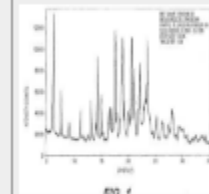


MyIPOシステムに収録された全特許について付与されたIPC個数を集計したものの。右側が全パーツ完備を計数条件としたものの。

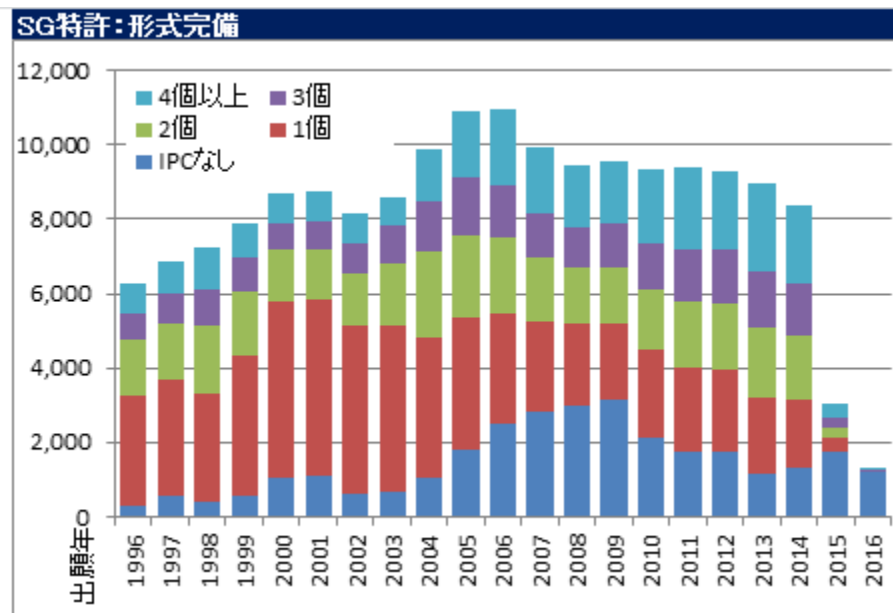
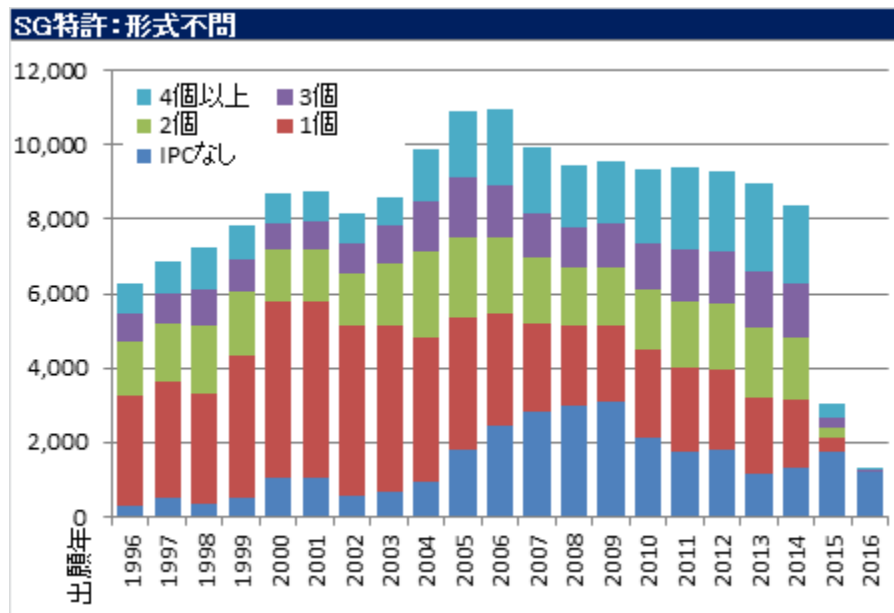
IPCが全く付与されていない案件が多く、これではIPCを使用して絞り込みを実施すると多くの案件がもれてしまう。ASEAN諸国はストラスブル協定に加盟していないとは言え、特許調査におけるIPC(特許分類)の重要性は疑いないもの。是非付与率を高めていただきたい。

IPOPHLでは検索結果にIPCが表示されず、どの程度の個数のIPCが付与されているのか知るすべもない。

FILE NO: [PH/1/2014/500382](#)  
OLD FILE NO: [12014500382](#)  
FILING DATE: [2/17/2014](#)  
PUBLICATION DATE: [4/14/2014](#)  
ISSUED DATE:  
TITLE: [NOVEL CRYSTAL FORM](#)  
ABSTRACT: [A novel crystalline form of a compound is disclosed.](#)  
OWNER/S: [| GLAXO GROUP LIMITED](#)  
INVENTOR/S: [| LEE, Mei-yin](#)  
STATUS: [Awaiting due date to file response to substantive examination](#)  
LINK/S:

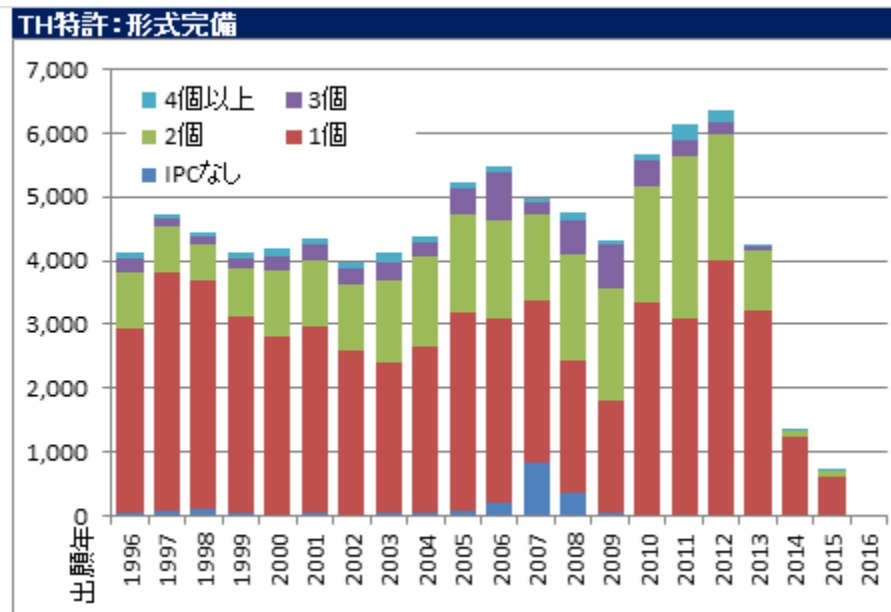
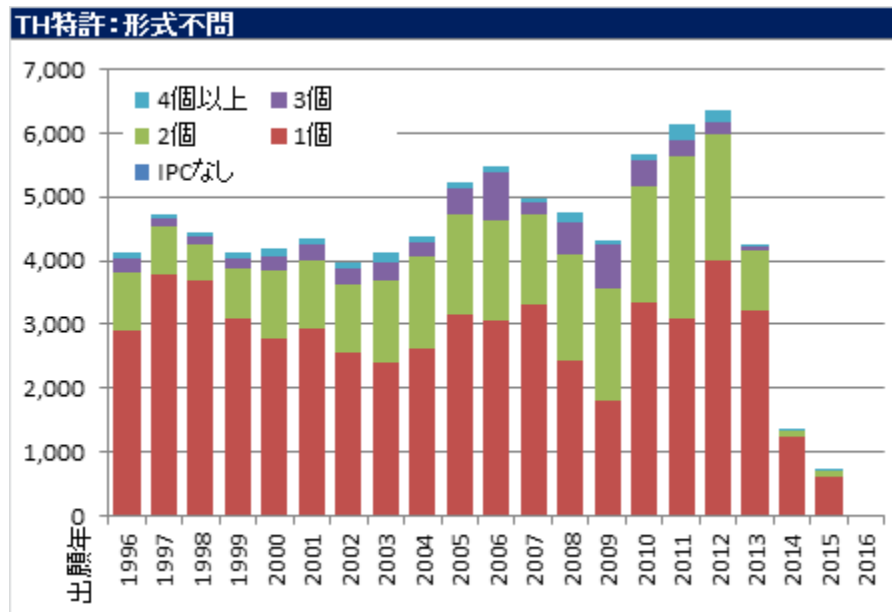


IPC検索機能は存在し、公報フロントページ画像に記されていないIPCでヒットする案件の存在も確認している。まずは検索結果一覧にIPCの表示をお願いしたい。



IP2SGシステムに収録された全案件について付与されたIPC個数を集計したもの。右側が全パーツ完備を計数条件としたもの。左右のグラフにほとんど差がなく、付与されたほぼ全てのIPCは5パーツが完備している。

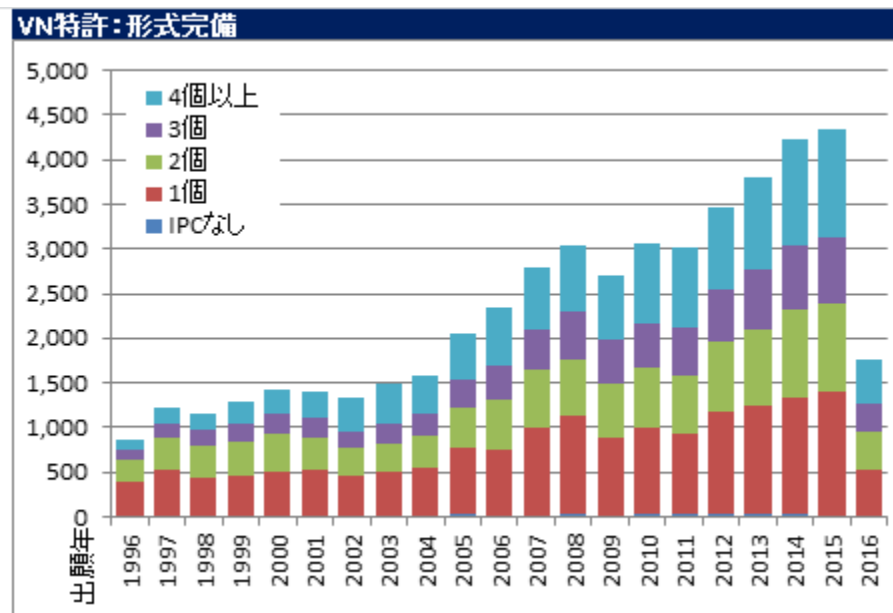
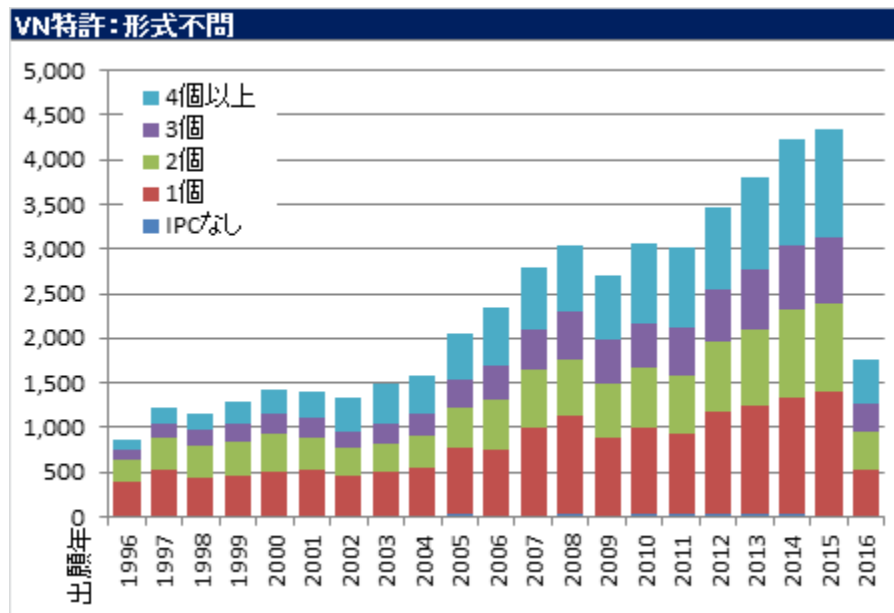
2個以上のIPCが付与された案件が半数以上を占めている反面、IPCが全く付与されていない案件も目立つ。是非全件にIPCを付与していただきたい。



DIPシステムに収録された特許の中で公開に至った案件について付与されたIPC個数を集計したもの。右側が全パーツ完備を計数条件としたもの。

左のグラフでは、ほぼ全数にIPCが付与されているが、5パーツ完備したものだけを計数すると2006～2008年出願案件に青色のバーが見えてくる。








IPCが付与されていない案件は少ないが、半数以上の案件にはIPCが1個しか付与されておらず、IPCによる絞り込みは少々難しいと思われる。是非複数付与率を上げていただきたい。



IPLibシステムに収録された全特許について付与されたIPC個数を集計したもの。右側が全パーツ完備を計数条件としたもの。左右のグラフにほとんど差がなく、付与されたほぼ全てのIPCは5パーツが完備している。

VNの素晴らしいところは、ほぼ全ての案件にIPCが付与されていること。また2/3程度の案件には2個以上のIPCが付与されていること。付与個数の観点ではIPCによる絞り込みには十分な力を発揮すると思われる。

# IPC付与個数まとめ@IN・ASEAN6

-  IN IPCが全く付与されない案件も無視できない件数  
サブグループまで完備していないIPCが付与された案件も目立つ  
多くの案件には1個しか付与されていない
-  ID IPCが全く付与されない案件も無視できない件数  
ほぼ全てがサブグループまで完備
-  MY 半数近くの案件にはIPCが付与されず
-  PH 検索結果にIPCが表示されず付与個数不明
-  SG IPCが全く付与されない案件も無視できない件数
-  TH 多くの案件には1個しか付与されていない
-  VN IPCによる絞り込みが可能

VNを除くアジア諸国ではIPCが十分に付与されていない。IPCにより調査対象案件を絞り込むと、もれてしまう案件が多いと予測される。



# キーワード検索による絞り込みと補完

 [SUMMARY PAGE](#)

## キーワード検索 @ IN・ASEAN6

この資料の3ページに記したように、3極の特許調査においては、特許分類により絞り込みを実施したあとに、発明の名称・要約・請求項・詳細な説明に記されたキーワードを検索することで、さらなる絞り込み、特許分類検索でもれてしまった案件の補完を実施する。

ここでは7か国のデータベースについてキーワード検索が十分な効果を発揮するかどうかを紹介する。



InPASS2では、下図のようにTitle・Abstract・Claims・Descriptionの各フィールドを検索する機能が用意されている。さらに検索対象文献を公開特許・登録特許から選択することも可能。素晴らしいDBである。



## Patent Search

Patent Search

Patent E-register

Application Status

Help

Publication Type:

Published

Granted

Application Date (Nationa

From: 01/01/1912

To: 03/11/2016

AND

Title

e.g. computer

AND

Abstract

e.g. computer + keyboard

AND

Claims

e.g. shed+

AND

Description

e.g. tamiflu

AND

ただし、このDBは9月にリリースされたものであり、キーワード検索性能の十分な検証は未実施。



DGIPシステムでは、Judl (Title)・Klaim (Claim)・Abstrak (Abstract) の検索フィールドが用意されている。しかしKlaimフィールドで検索できるのは請求項の数だけであり、請求項内のテキストを検索するものではない。

TEKS

Judul  
Judul AND Klaim  
Klaim AND

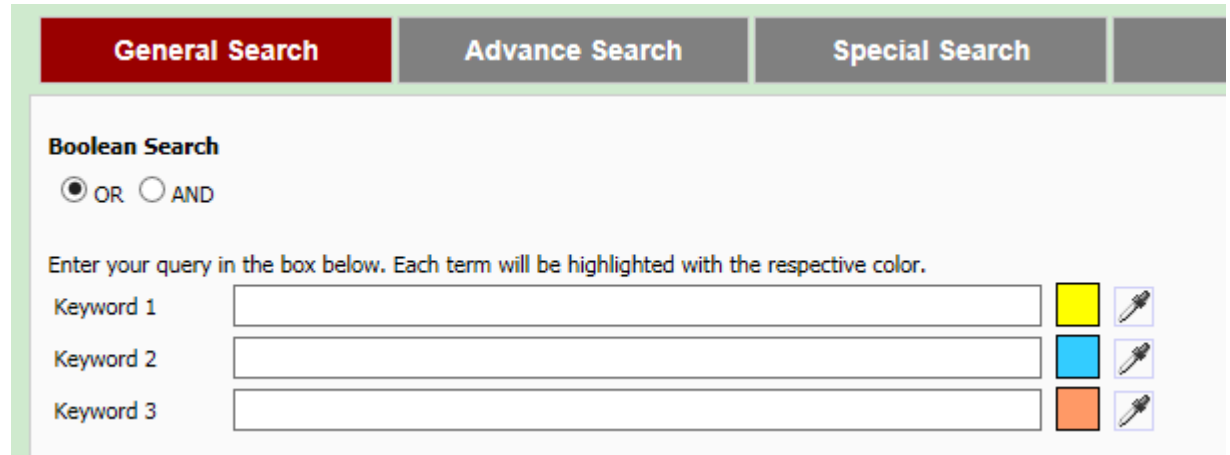
Abstrak  
Abstrak AND

発明の詳細な説明を検索する機能もサポートされておらず、このシステムではキーワード検索による絞り込み・補完は難しいと言わざるを得ない。

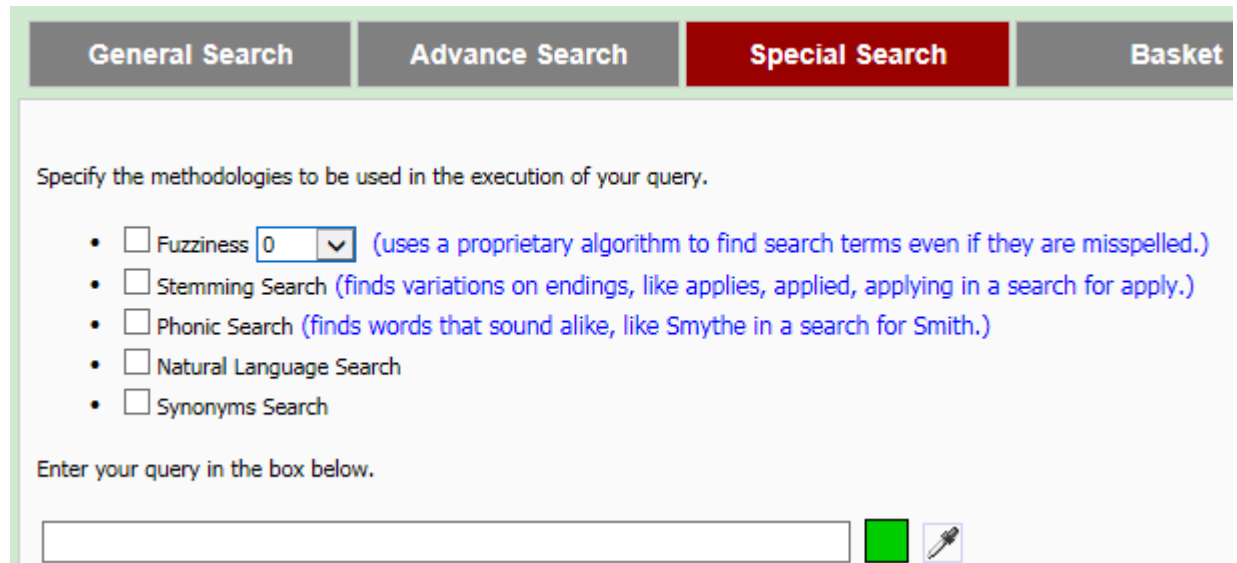
# キーワード検索@MY

MyIPOシステムでは、「General Search」画面、および「Special Search」画面でキーワード検索がサポートされている。「Special Search」画面では5種の検索モードを設定可能であり、キーワードの表記揺れへの対応能力は高いと思われる。

しかし検索対象に請求項・発明の詳細な説明が含まれているかは定かではない。請求項・発明の詳細な説明を表示する機能もなく、検索能力についての詳細な検証はできていない。



The screenshot shows the 'General Search' tab selected. It features a 'Boolean Search' section with radio buttons for 'OR' (selected) and 'AND'. Below this is a text box with the instruction: 'Enter your query in the box below. Each term will be highlighted with the respective color.' There are three input fields labeled 'Keyword 1', 'Keyword 2', and 'Keyword 3'. Each field has a colored square (yellow, blue, orange) and a magnifying glass icon to its right.



The screenshot shows the 'Special Search' tab selected. It features a section titled 'Specify the methodologies to be used in the execution of your query.' with a list of search options:

- Fuzziness  (uses a proprietary algorithm to find search terms even if they are misspelled.)
- Stemming Search (finds variations on endings, like applies, applied, applying in a search for apply.)
- Phonic Search (finds words that sound alike, like Smythe in a search for Smith.)
- Natural Language Search
- Synonyms Search

Below the list is a text box with the instruction: 'Enter your query in the box below.' and a green square with a magnifying glass icon to its right.

「Advanced Search」画面ではフィールドを指定してキーワードを検索することができる。しかし、ここではInvention TitleとAbstractしか検索できず、請求項や発明の詳細な説明は検索することができない。

General Search	Advance Search	Special Search	Basket	Report
<b>Disclaimer :</b> The keyword 'Not' and wildcard '*' are acceptable in the search.				
Application No ?	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	AND ▼
Invention Title ?	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	AND ▼
Abstract ?	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	AND ▼

IPOPHLシステムでもキーワード検索の対象フィールドは、TitleとAbstractに限られており、請求項や発明の詳細な説明は検索することができない。

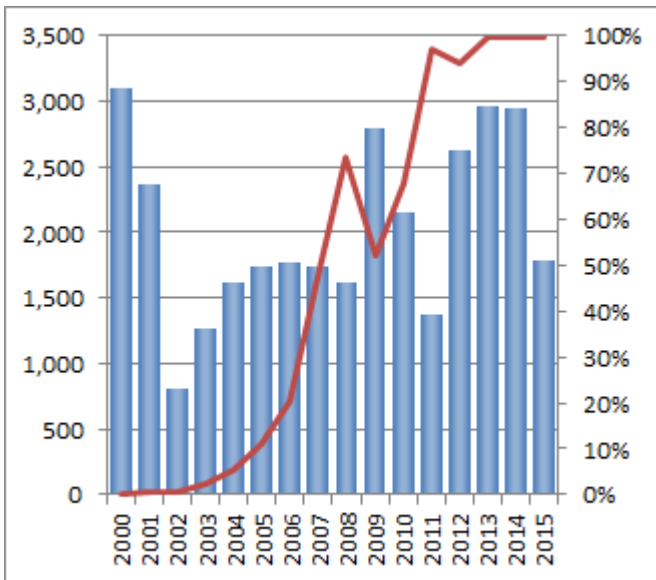
更にこのシステムによるAbstract検索には次ページ以降に記した大きな問題があることがわかっている。

OLD FILE NO.	<input type="text"/>
NEW FILE NO.	PH <input type="text" value="Invention"/> <input type="text"/>
INVENTOR	<input type="text"/>
APPLICANT/ASSIGNEE	<input type="text"/>
TITLE	<input type="text"/>
ABSTRACT	<input type="text"/>
INTL. PUB. NO.	<input type="text"/>
INTL. PUB. DATE	<input type="text"/>



ABSTRACTフィールドに「COMPUTER」と入力して検索すると2016/11/04時点では311件がヒット。このシステムでは1ページあたり10件ずつ右図のように表示され、赤枠部分が各案件のAbstract。31回ページ送りして、全311件を確認したところ全ての案件で赤枠部に要約文字列が表示されていた。

下のグラフは2000年以降に出願された案件について収録件数を棒グラフで、要約文字列収録率を折れ線で表したもの。2010年以前の要約収録率



が低いにも関わらず、311件全数に要約文字列が表示されている。

FILE NO.	FILE NO.	FILE NO.	FILE NO.
FILE NO.: P/1201170044	FILE NO.: P/1201170171	FILE NO.: P/1201170173	FILE NO.: P/1201170211
DOI/PAT. NO.: 200906044	DOI/PAT. NO.: 200906047	DOI/PAT. NO.: 200906048	DOI/PAT. NO.: 200906057
PUB. DATE: 4/3/2011	PUB. DATE: 4/3/2011	PUB. DATE: 4/3/2011	PUB. DATE: 4/3/2011
ABSTRACT: NETWORK NETWORKS... A method performed by a network node of a wireless communication network...	ABSTRACT: THE present invention relates to a system and method of displaying items such as fast-food food products...	ABSTRACT: LOCATION-BASED MESSAGE AND INFORMATION INDICATING SYSTEM Image or video to a group of wireless devices...	ABSTRACT: THE present invention relates to an annotation drawing table for annotation...
INVENTOR: [TRANSMARTS/BALAJI LAKSHMINARAYANAN]	INVENTOR: [BALAJI LAKSHMINARAYANAN]	INVENTOR: [PEREZ, ANTONIO CHAN QUINA]	INVENTOR: [SHIBATA, YOSHIO]
STATUS: [PENDING]	STATUS: [PENDING]	STATUS: [PENDING]	STATUS: [PENDING]
CLASS: [H04W 76/00]	CLASS: [G06Q 10/00]	CLASS: [H04W 4/00]	CLASS: [G06F 3/00]
FILE NO.: P/1201170044	FILE NO.: P/1201170171	FILE NO.: P/1201170173	FILE NO.: P/1201170211
DOI/PAT. NO.: 200906044	DOI/PAT. NO.: 200906047	DOI/PAT. NO.: 200906048	DOI/PAT. NO.: 200906057
PUB. DATE: 4/3/2011	PUB. DATE: 4/3/2011	PUB. DATE: 4/3/2011	PUB. DATE: 4/3/2011
ABSTRACT: NETWORK NETWORKS... A method performed by a network node of a wireless communication network...	ABSTRACT: THE present invention relates to a system and method of displaying items such as fast-food food products...	ABSTRACT: LOCATION-BASED MESSAGE AND INFORMATION INDICATING SYSTEM Image or video to a group of wireless devices...	ABSTRACT: THE present invention relates to an annotation drawing table for annotation...
INVENTOR: [TRANSMARTS/BALAJI LAKSHMINARAYANAN]	INVENTOR: [BALAJI LAKSHMINARAYANAN]	INVENTOR: [PEREZ, ANTONIO CHAN QUINA]	INVENTOR: [SHIBATA, YOSHIO]
STATUS: [PENDING]	STATUS: [PENDING]	STATUS: [PENDING]	STATUS: [PENDING]
CLASS: [H04W 76/00]	CLASS: [G06Q 10/00]	CLASS: [H04W 4/00]	CLASS: [G06F 3/00]





そこで試しに「APPLICANT/ASSIGNEE」フィールドに「MICROSOFT」と入力し検索すると図の案件がヒット。このPH/1/2004/92にはABSTRACTテキストが表示されていない。しかし赤枠の「AB-Abstract」をクリックし開かれた公報PDF画像では、「computer」の文字列が表示されている。

SEARCH RESULTS	
FILE NO:	<a href="#">PH/1/2004/92</a>
OLD FILE NO:	12004000092
FILING DATE:	2/27/2004
PUBLICATION DATE:	4/24/2006
ISSUED DATE:	7/21/2008
TITLE:	<a href="#">TYPE BRIDGES</a>
ABSTRACT:	
OWNER/S:	<a href="#">MICROSOFT TECHNOLOGY LICENSING, LLC</a>
INVENTOR/S:	
STATUS:	Registered
LINK/S:	<a href="#">BD - Bibliographic Data</a>   <a href="#">AB - Abstract</a>   <a href="#">CL - Claims</a>   <a href="#">DE - Description</a>   <a href="#">DR - Drawing</a>

## Abstract

Methods, systems, and **computer** program products for converting an object of one type to an another type that allow for the runtime operation of the conversion process to be altered or customized. The conversion may occur within an extensible P.

INTELLECTUAL PROPERTY PHIL.  
APR 18 2008



このシステムでAbstractが検索可能な案件は、検索結果画面に要約文字列が表示される案件に限られている可能性大。

先に示したグラフのような収録率では、キーワード検索により母集団を絞り込んだり、特許分類による検索を補完することは難しい。さらに請求項や発明の詳細な説明も検索することができず、十分な特許調査ができるものではないと考える。



IP2SGシステムはSimple Search画面から全文のテキスト情報を検索することができる。下図のように「Abstract & Specification」を選択すると請求項文字列も検索されることを検証済み。さらに派生語を検索する機能もサポートされており、IPC付与欠落が目立つSG案件の補完には効果を発揮するものである。

Fast Search | Simple Search | Boolean Search

Search Type

Forms  IP  Journals  Trade Marks Classification of Goods or Services  Trade Marks Similar Mark

Patents Abstract and Specification

Abstract  Abstract & Specification

Keyword(s) in Abstract and/or Specification \*

Notes:

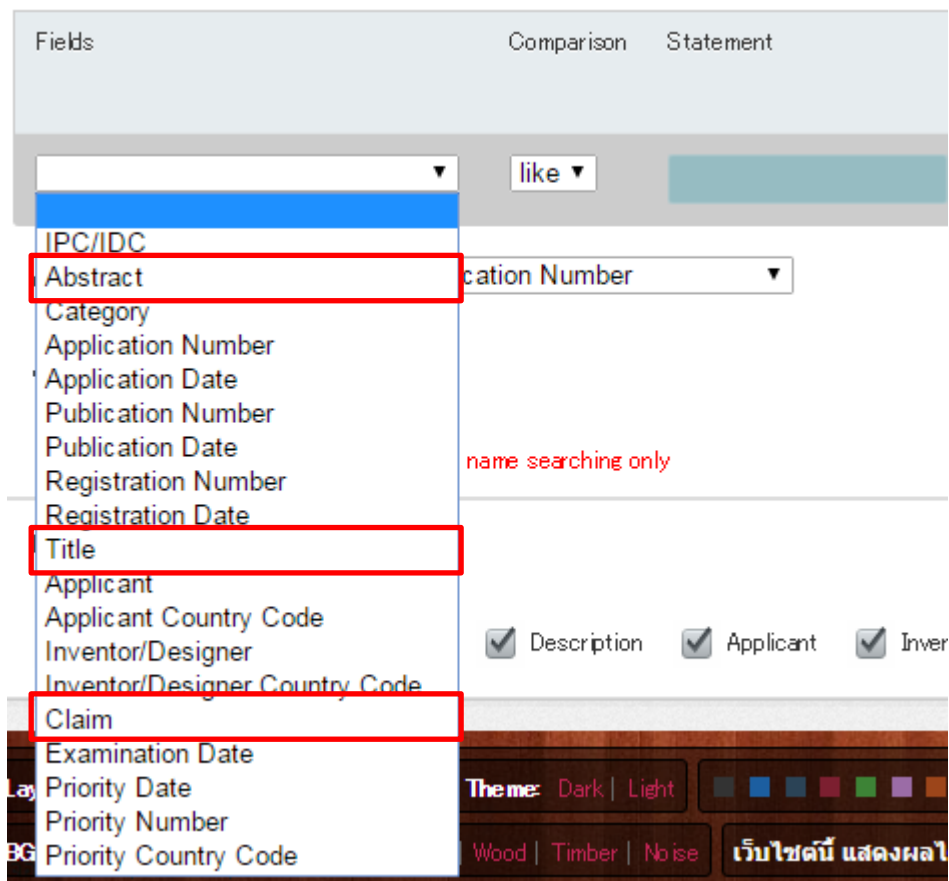
- AND: Contains all of the terms entered
- OR: Contains at least one of the terms entered
- (): Controls precedence and behavior of "AND" & "OR"

Stemming  ON  OFF



DIPシステムではComplex Search画面で、Abstract・Title・Claimのフィールドを選択してキーワードを検索することができるが、Description(発明の詳細な説明)は検索フィールドとしてサポートされていない。

日本人には馴染みの薄いタイ語でキーワード検索する必要があり、検索機能自体の性能は十分に評価できていない。





VNには公開された特許・実案の全案件を収録するIPLibデータベースと、登録特許・登録実案だけを収録するDigiPatデータベースの2種が一般公開されている。

IPLibでは右図のように、Title of Inventionと Title or Abstract Textの2種のフィールドを検索することができる。しかしIPLibでは請求項・発明の詳細な説明は収録されておらず、このため検索機能もサポートされていない。

	Field Name	
	Application No	=
	Title of invention	
	Title or Abstract text	
AND	IPC	=
	Application No	
	Filing Date	
AND	Publication A Number	=
	Publication A Date	
	Priority No	
AND	Priority Date	=
	Applicant Name	
	Applicant Address	
	Applicant Country Code	
	Applicant Province Code	
	Inventor Name	
	Inventor Country Code	
	IP Agent Short Name	
	Priority Country code	
	PCT number	
	PCT date	
	PCT Publication Number	

You are visitor  
Time to load :  
tual Proper  
h Project fo

# キーワード検索@VN

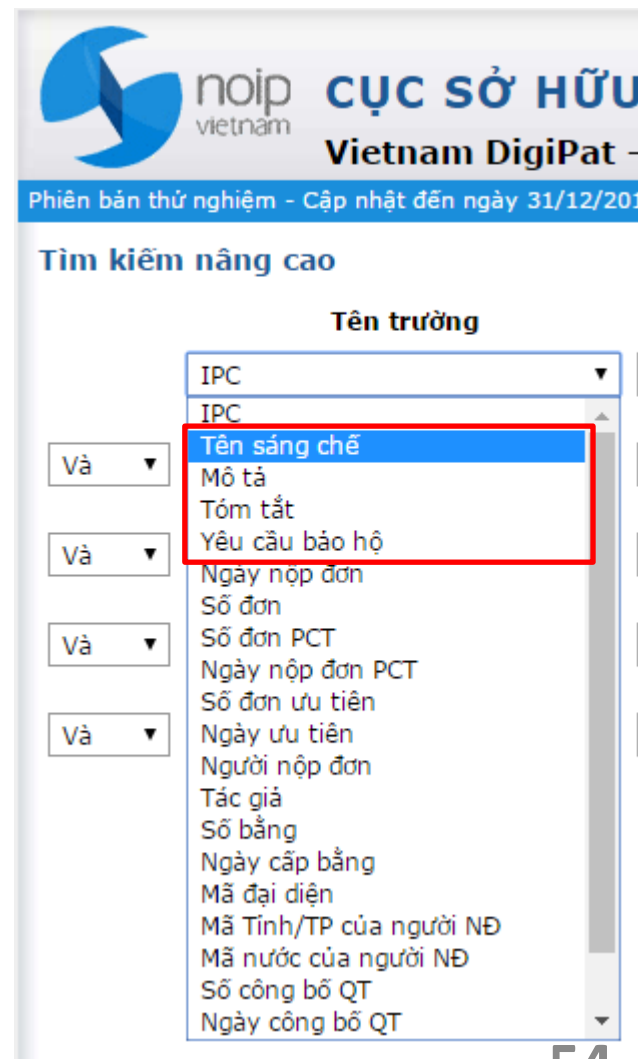
一方DigiPatは登録案件しか収録されていない反面、収録されたほぼ全ての案件について、要約・請求項・発明の詳細な説明の電子テキストが収録されている。

日本人には馴染みの薄いベトナム語テキストであり、公報画像でなく電子テキストで収録されているため、機械翻訳を使用して日本語・英語に翻訳することが可能。








登録案件の権利範囲を検索できるシステムは、DigiPatがASEAN唯一。特許調査の正確性・網羅性を高めるために非常に有効なデータベースである。

英語等と違い、翻訳コーパスが充実していないため機械翻訳品質が低いのが残念。機械翻訳技術の進歩に期待。

ベトナム語	英語
Tên sáng chế	Title of Invention
Mô tả	Description
Tóm tắt	Abstract
Yêu cầu bảo hộ	Claim



# キーワード検索まとめ @ IN・ASEAN6

-  IN Title・Abstract・Claim・Descriptionを個別検索可能、公開特許・登録特許を検索対象に指定することも可能であり完璧な検索機能
-  ID Claim・Description を検索できずキーワード検索による絞り込み・補完には力不足
-  MY Claim・Description を検索できずキーワード検索による絞り込み・補完には力不足
-  PH Claim・Description を検索できずキーワード検索による絞り込み・補完には力不足  
Abstract検索にも大きな問題あり
-  SG 全文を検索対象として指定可能であり、キーワード検索による絞り込み・補完に力を発揮する
-  TH Claimまでは検索可能であるが、収録された全件についてClaim検索できるかどうか未検証
-  VN IPLibではClaim・Description を検索できず  
登録案件だけを収録するDigiPatではClaim・Description まで検索可能であり、キーワード検索による絞り込み・補完に力を発揮する

IN・SG・VN以外は十分な能力。ID・MY・PHは力不足。THは詳細検証が必要。

**査読**

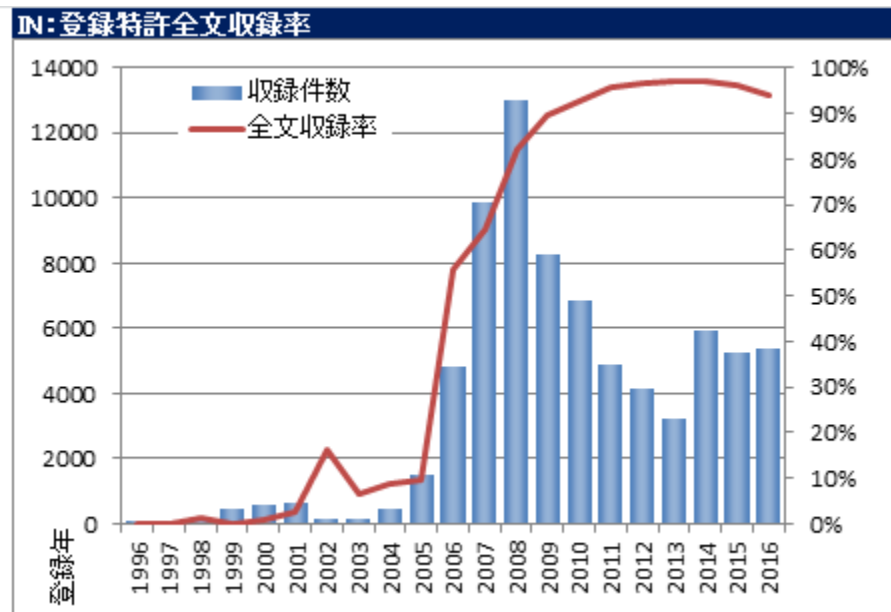
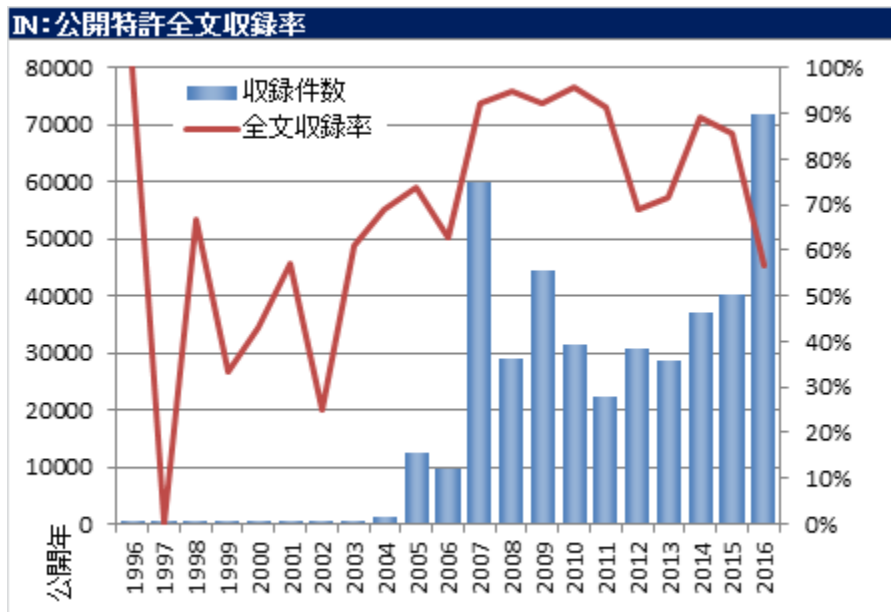
 **SUMMARY PAGE**



## 査読 @ IN・ASEAN6

特許分類やキーワード検索により読み込むべき特許群を特定し、個々の案件の請求項・発明の詳細な説明を査読することで、自社製品(技術)の他社特許への権利侵害有無を判定するステップ。

ここでは7か国のデータベースについて、請求項や発明の詳細な説明を査読可能かどうかを紹介する。

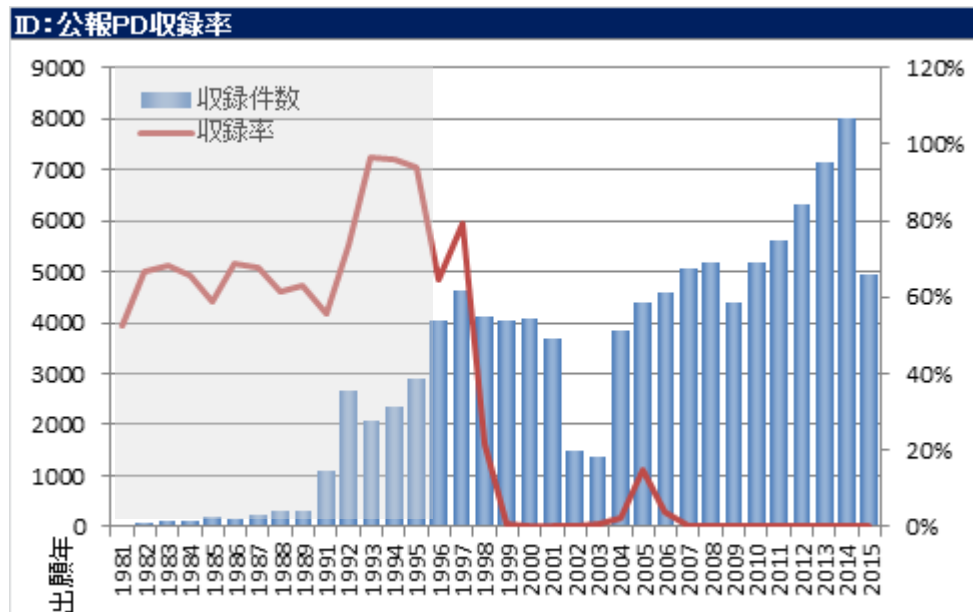


InPASS2では公開・登録特許ともに、「Complete Specification」フィールドに請求項・発明の詳細な説明(全文文字列)が表示される。上のグラフは公開・登録特許それぞれについて、収録数を棒グラフで、100文字以上の全文文字列が同フィールドに表示される案件の比率を折れ線で表したものの。横軸は公開年と登録年。

2009年以降に登録された特許には90%程度の案件に「全文文字列」が収録されている。一方2005年以前は案件収録自体に疑いがある。権利期間内の登録案件のレコード収録・全文文字列収録を向上させていただきたい。



DGIPシステムでは請求項も発明の詳細な説明も表示されず、権利範囲を特定することができない。約20,000件の案件について公報PDFファイルが収録されているが、大半が1985年以前に出願された案件のものであり、権利範囲内の案件には極めて僅かしか公報PDFファイルが収録されていない。

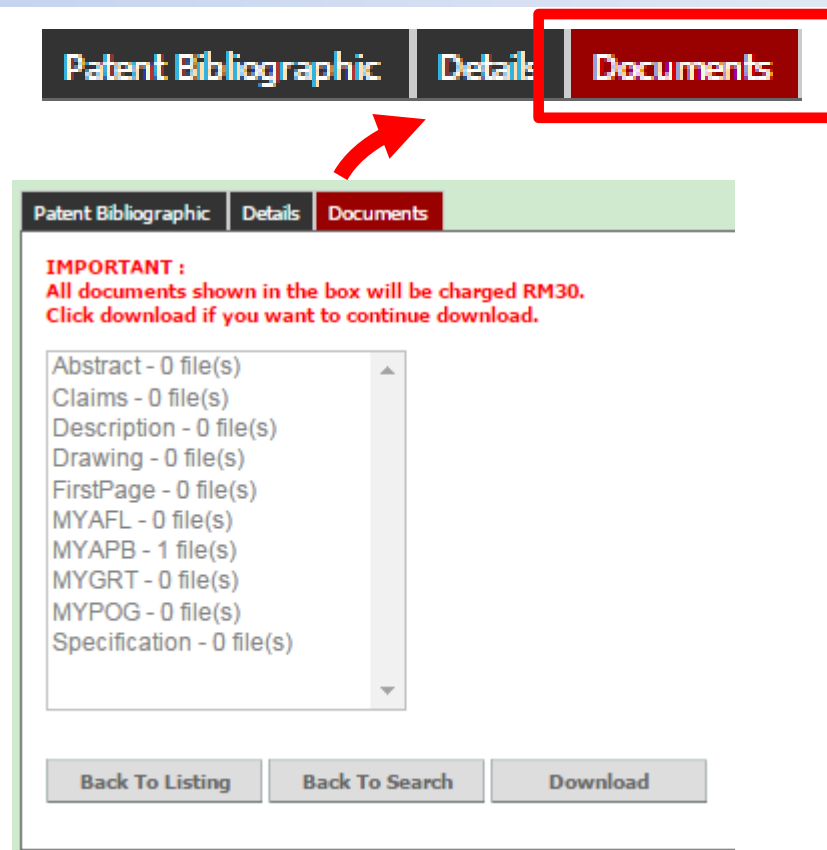


同国の特許法では公開特許の請求項・発明の詳細な説明は開示されないことが規定されている。しかしせめて登録特許については全件に公報PDFファイルを収録していただきたい。

MyIPOシステムでは、請求項・発明の詳細な説明文字列を表示するフィールドが存在しない。また公報PDFファイルを取得する機能もなく、個々の案件の権利範囲を特定することができない。

過去に1度だけ検索結果表示画面に図のように「Documents」タブが表示され、この画面から公報PDFファイルをダウンロードできたことがある。システム内部には公報PDFを保存しているものと思われるが、収録率は定かではない。

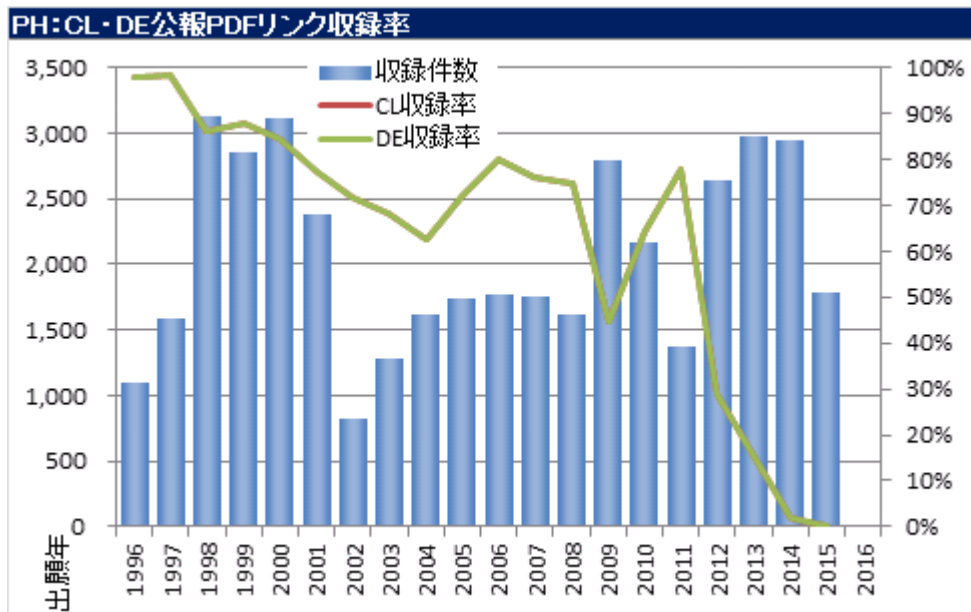
請求項文字列も表示されず、公報PDFファイルを得ることもできないと、MY特許の権利範囲を特定できず侵害防止調査が不可能。少なくとも登録特許については、権利範囲特定を可能とする情報の開示をお願いしたい。





IPOPHLシステムでは請求項・発明の詳細な説明の文字列を表示するフィールドは用意されていない。しかし案件ごとにClaim・DescriptionのPDFファイルにリンクする機能がサポートされている。

グラフは各年に出願された特許案件の収録数を棒グラフで、CL・DEリンク表示の収録率を折れ線で表したものの。CL・DEの折れ線は完全に重なっている。



FILE NO:	<a href="#">PH/1/2000/1705</a>
OLD FILE NO:	<a href="#">12000001705</a>
FILING DATE:	<a href="#">6/28/2000</a>
PUBLICATION DATE:	<a href="#">8/5/2002</a>
ISSUED DATE:	<a href="#">10/27/2006</a>
TITLE:	<a href="#">MOVABLE PARTITION WALL</a>
ABSTRACT:	
OWNER/S:	<a href="#">  KOKUYO CO., LTD.,</a>
INVENTOR/S:	
STATUS:	<a href="#">Deemed lapsed for non-payment of annuity</a>
LINK/S:	<a href="#">BD - Bibliographic Data</a>   <a href="#">AB - Abstract</a>   <a href="#">CL - Claims</a>   <a href="#">DE - Description</a>   <a href="#">DR - Drawing</a>   <a href="#">Claim Link</a>   <a href="#">Description Link</a>



年ごとに変動はあるが、高くても70%程度の収録率である。さらに2011年出願案件以降は収録率が極端に落ちこんでいる。

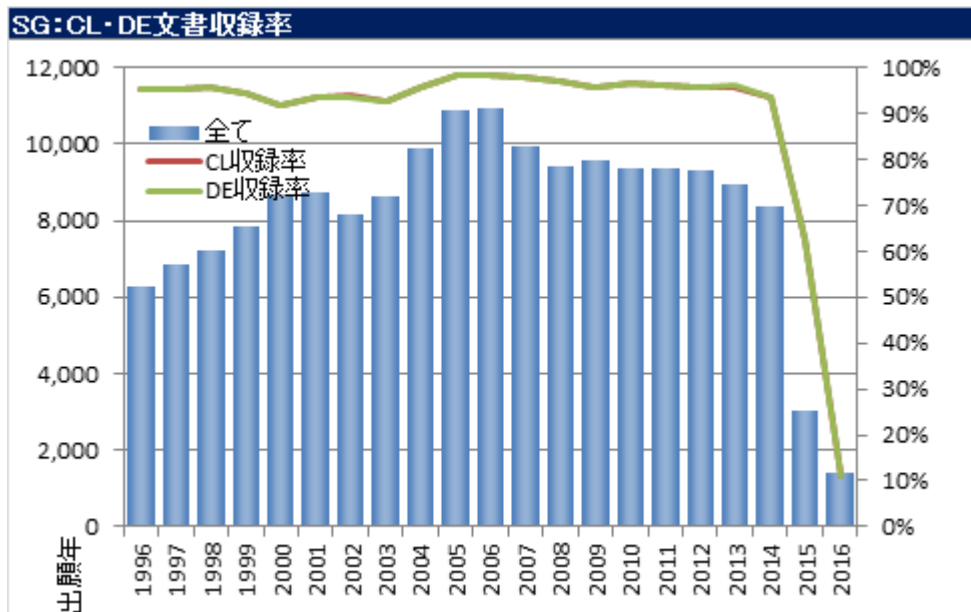
また、このDBは出願番号単位のレコードを収録したものであり、リンクされるPDFファイルが公開案件のものなのか登録案件のものなのかが定かではない点にも不安が残る。

少なくとも登録特許については権利範囲を特定するために、全件についてClaim・Descriptionを収録していただきたい。



IP2SGシステムでも請求項・発明の詳細な説明の文字列は表示されない。しかし検索結果詳細表示画面内に「出願・包袋文書ファイル」へのリンクが収録されており、ここに記された文書名をクリックするとそれぞれのファイルを開くことができる。

グラフは請求項・詳細な説明のそれぞれについて、出願・包袋文書名の収録率を出願年ごとに集計したもの。



収録タイムラグと想定される2015年以降以外は、権利期間内で収録率90%以上を確保しており、請求項・発明の詳細な説明の査読に大きな問題はないと判断する。

「出願・包袋文書ファイル」の各文書名と、CL・DE収録ありとの判定基準は次ページに記す。



表示される「出願・包袋文書ファイル」文書名は下表の17種。CL・DEありと判定したのは、表内に○印を付与した「文書名」が表示された案件。

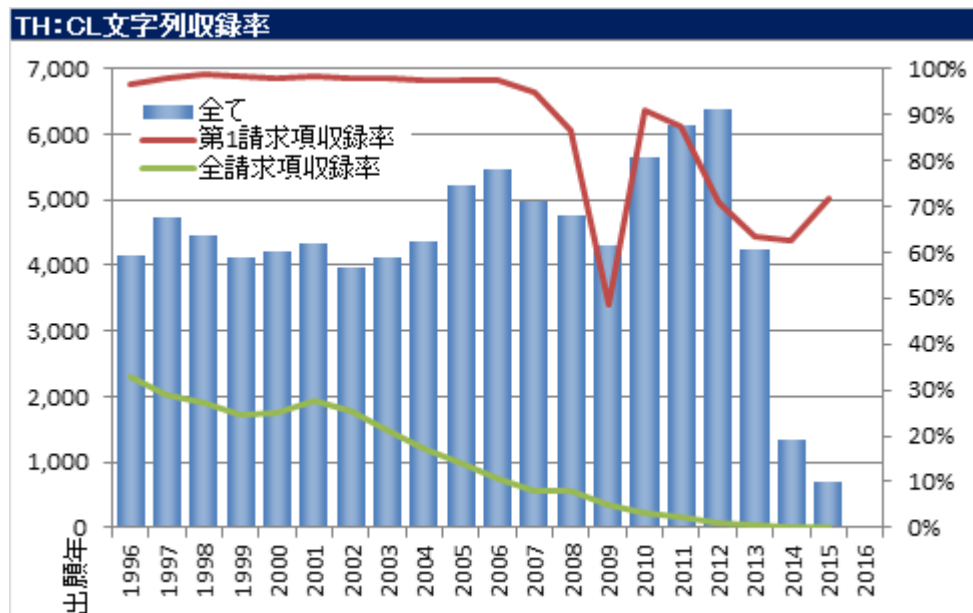
文書名	CLAIM	DESCRIPTION
Amendment of Claim(s) only		
Amendment of Description with Claim(s)		
Amendment of Description without Claim(s)		
Amendment of Drawing(s)		
Amendment or Correction of Drawings		
Amendment or Correction of Specifications		
Amendment(s) to the international application		
Claim(s) Only	○	
Correction of Claim(s) Only		
Correction of Description with Claim(s)		
Correction of Description without Claim(s)		
Correction of Drawings		
Description (with claims)	○	○
Description (without claims)		○
Drawing(s)		
Full Specification (After Grant)	○	○
Full Specification (Grant)	○	○





DIPシステムでは第1請求項・全請求項の電子文字列を表示するフィールドが用意されている。また公報の発明の詳細な説明部分のPDFファイルへのリンクもサポートされている。

右図は各年に出願された特許案件の収録数を棒グラフで、第1請求項・全請求項電子文字列収録率を折れ線で表したものの。発明の詳細な説明へのリンク収録率は検証できていない。

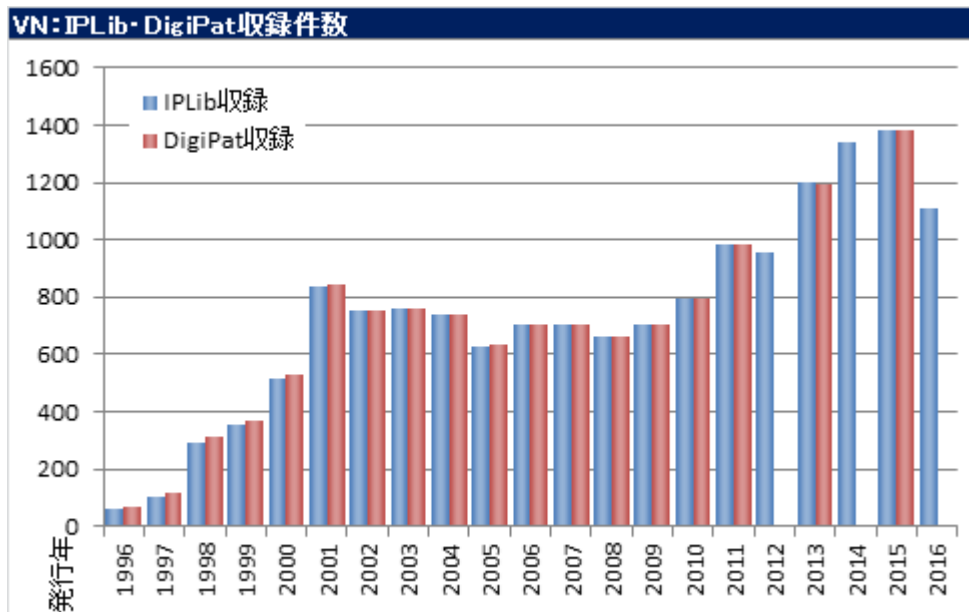


全請求項文字列の収録率は低く、各案件の権利範囲を特定するには力不足である。特に日本人に馴染みの薄いタイ語で標記された特許文献であり、査読のためには機械翻訳の手助けを得られる電子文字列が必須と考える。



IPLibシステムには請求項・発明の詳細な説明を表示するタブが用意されている。しかし、これらのタブに文字列が表示される案件は皆無である。

IPLibとは別に登録特許・実案だけを収録するDigiPatシステムが併設されている。右のグラフは、IPLibに収録され、登録に至った特許案件の件数と、DigiPatに収録された特許案件の件数を、登録公報発行年ごとに表示したもの。

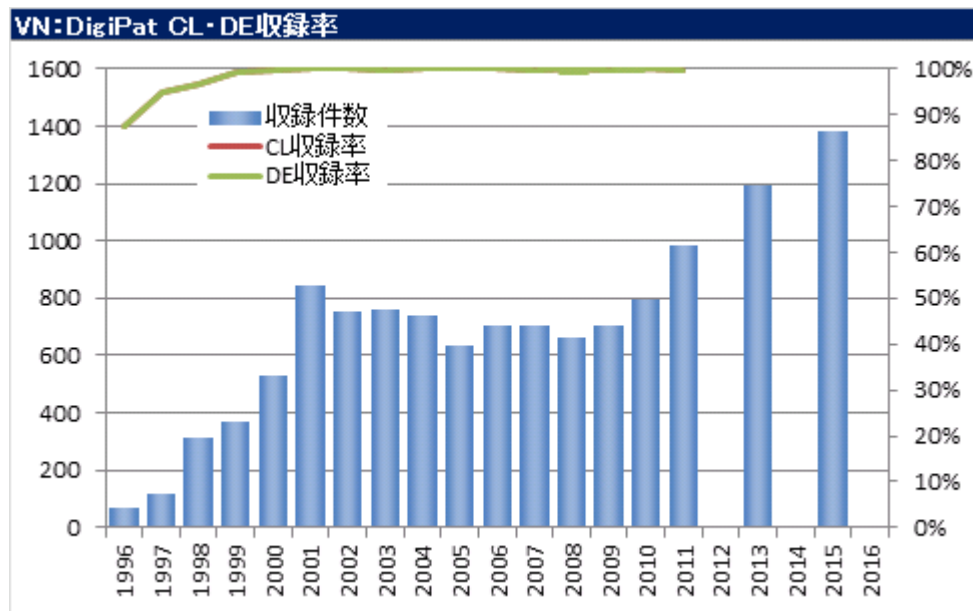


2012・2014年に発行された案件の収録が欠落しているが、それ以外はほぼ100%の収録率である。なお今年の今ごろには2111年発行案件も全く収録されていなかったが、今年の2月にJETROバンコクを通じて補充収録をNOIPに依頼したところ、上図のように2011年の案件が完全に収録された。NOIP関係者に心から感謝を申し上げる。










DigiPatシステムは請求項・発明の詳細な説明電子文字列を表示するフィールドが用意されている。

右図は各登録公報発行年ごとの収録数を棒グラフで、請求項・発明の詳細な説明電子文字列の収録率を折れ線で表したグラフ。



1999年以降の収録率は、案件収録自体が欠落している2年間を除いて、CL・DEともにほぼ100%という、ASEAN唯一の非常に素晴らしいデータベースである。

# 査読まとめ @ IN・ASEAN6

-  IN 2009年以降の登録特許には90%程度の案件が査読可能  
一方2005年以前はレコード収録自体に疑いあり
-  ID 権利期間内の案件はほとんど査読できず権利範囲を特定できない
-  MY Claim文字列も公報PDFファイルも表示されず、権利範囲を特定できない
-  PH 公報のClaim・Description 部分へのリンク収録も完全ではなく、  
2011年出願案件以降は収録率が極端に低下  
査読による権利範囲特定不可
-  SG ほぼ全数にClaim・Description 文書リンク収録  
画像PDFファイルもあるが英語表記であり査読可能
-  TH 全請求項リンクの収録が不十分  
タイ語画像PDFでは機械翻訳も使用できず査読できない
-  VN DigiPatは2年間を除き全数にClaim・Description 電子テキスト文字列が表示される  
機械翻訳を使用して査読することで権利範囲特定可能

登録特許の権利範囲を特定できるのはSGとVNだけ

# 代替調査

# 代替調査 @ IN・ASEAN6

ここまで述べたように、各国のDBでは

- 案件収録自体にモレがありそう
  - IPCが付与されていない案件、付与個数が少ない案件が目立つ
  - キーワードによる検索機能が十分ではない
  - 請求項の査読による権利範囲の特定ができない
- 等の問題がある。

一方7か国の特許はPCT国内移行特許、他国特許を優先権主張した特許が多数を占めることがわかっている。これらの「親特許」は商用データベースから十分な情報を得ることができ、侵害防止調査の網羅性・精度を高めることが可能。

次ページ以降に各国の「親特許」を、

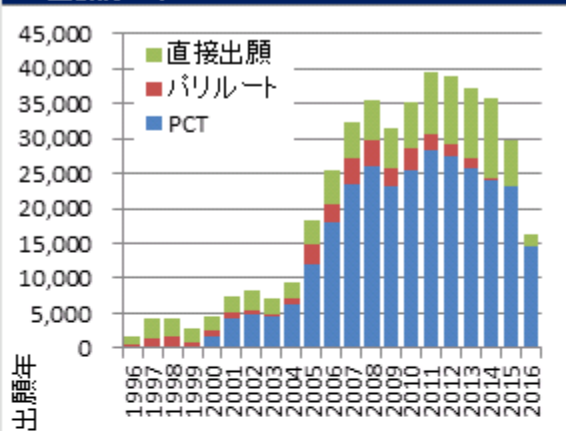
- PCT国内移行特許(PCT)
- 他国特許を優先権主張した特許(パリルート)
- 各国に第一国出願した特許(直接出願)

に分類した状況を示す。

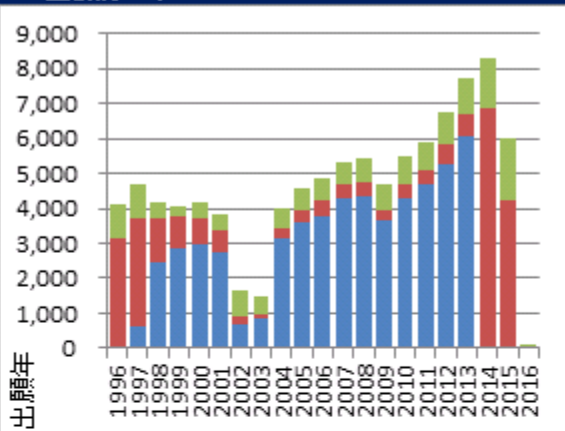
# 出願ルート@IN・ASEAN6

出願ルート(PCT or パリルート or 直接出願)の分類が可能な5か国の状況をグラフに示す。近年の案件の大多数はPCT国内移行案件であり、各国に出願された案件がPCT案件と対応付けられれば、調査を深められることがわかる。

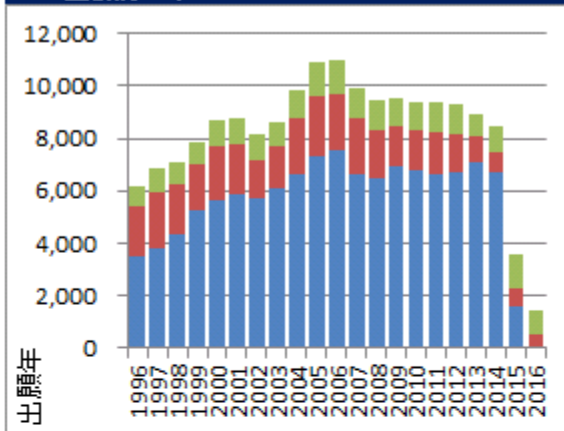
IN:出願ルート



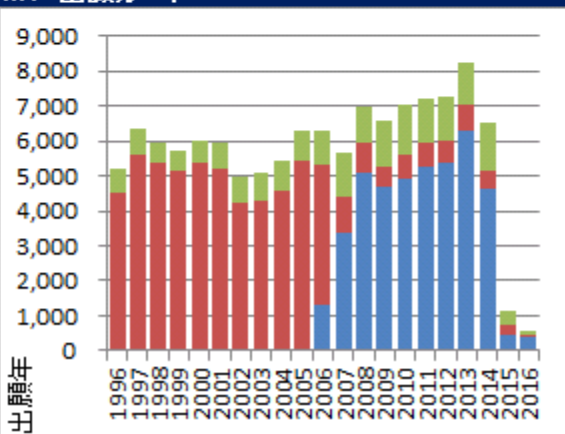
ID:出願ルート



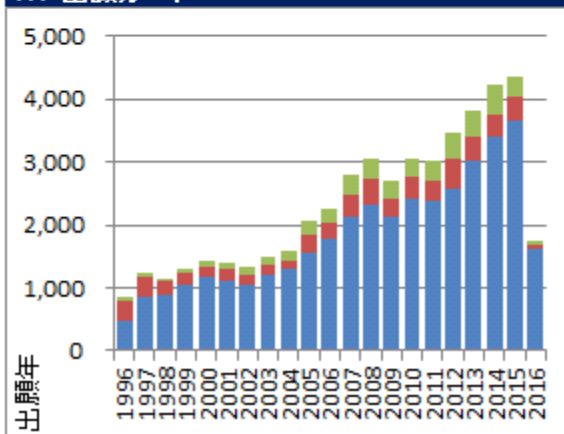
SG:出願ルート



MY:出願ルート



VN:出願ルート



# 出願ルート把握の問題点 @ ASEAN4

## ■ ID: インドネシア

- ・ 2013年以前に出願された案件は、出願番号の最上位桁が“W”であることからPCT国内移行特許を識別可能。
- ・ しかし2014年以降の特許案件の全てについて最上位桁が“P”に統一され、PCT案件を識別できなくなりました。
- ・ またPCT案件であることは識別できても、検索結果詳細画面にPCT出願(公開)番号が表示されないため、親特許を特定することができない。

## ■ MY: マレーシア

- ・ 検索結果詳細画面のDetailsタブにて、PCT Application No. が表示されるがこの出願番号文字列から国名記号が欠落しており、親特許を特定することができない。

Patent Bibliographic	Details
Abstract :	null
PCT Application No. :	2013/054388 <b>国名記号欠落</b>
Agent :	Name: CAROLINE ANNE FRANCIS XAVIER MONEY Country Code: MY
Divisional Application :	



# 出願ルート把握の問題点 @ ASEAN4

## ■ フィリピン(PH)

- ・ 検索結果詳細画面にPCT出願(公開)番号や優先権主張番号が表示されず、親特許の素性を把握することができない。
- ・ 出願番号連番部の最上位桁が“5”の案件がPCT国内移行特許か？

## ■ タイ(TH)

- ・ 検索結果詳細画面にPCT出願(公開)番号や優先権主張番号が表示されず、親特許の素性を把握することができない。
- ・ 公報フロントページを表示させても、古い案件はテキストPDFではなく画像PDFであることが多い。
- ・ PCT番号はアルファベットで記されているので読み取り可能であるが、優先日・優先国がタイ語で記されているため、正しく読み取ることが難しい。
- ・ 最近の案件はテキストPDFであり、コピー・ペーストして機械翻訳が可能。

(31)	เลขที่คำขอที่ยื่นครั้งแรก
	102008008975.3
(32)	วันที่ยื่นคำขอครั้งแรก
	13 กุมภาพันธ์ 2551
(33)	ประเทศที่ยื่นคำขอครั้งแรก
	เยอรมัน

# JPOとASEAN知財庁とのデータ交換

# JPOとASEAN知財庁とのデータ交換

2015年よりJPOとASEAN知財庁との間で特許データの交換が開始された。SG・VN・THの3か国は各庁より入手した情報がJPOのデータベース「FOPISEER」に収録され、既に一般公開されている。PH・IDとのデータ交換・FOPISEERへの収録もアナウンス済みである。

FOPISEERにより各国特許庁DBでは得られない情報もテキスト表示され、我々日本人の特許調査のための素晴らしいツールのひとつになった。このような環境を実現していただいたJPO・JETRO関係者、および各国知財庁関係者には心からお礼を申し上げたい。

しかしVN以外は公開案件しか収録されていないところが残念。今後は登録案件へと収録範囲を拡張していただきたい。

# JPOとASEAN知財庁とのデータ交換

しかし次のような問題も顕在化している。SG・VNは最初に収録されたあと一度もデータが更新されていない。THも7月に更新されたあと5ヶ月ほど変化がない。

文献種別		上段：検索可能範囲／下段：文献蓄積範囲												最終更新日	件数						
		~	19				19				20					20			20		
		90				95				00			05			10			15		
シンガポール 文献	特許公開	x				○										x	2016/05/10	74,833件			
		x				○										x	2015/12/24	159,957件			
ベトナム文献	特許公開	x													○	x	2016/02/26	27,630件			
		x													○	x	2016/02/26	27,630件			
	特許登録	x													○	x	2016/02/26	7,650件			
		x													○	x	2016/02/26	7,650件			
	実用公開	x													○	x	2016/02/26	1,694件			
		x													○	x	2016/02/26	1,694件			
実用登録	x													○	x	2016/02/26	613件				
	x													○	x	2016/02/26	613件				
タイ文献	特許公開	x															2016/07/07	65,939件			
		x															2016/07/07	65,939件			
	実用公開	x															2016/07/07	10,793件			
		x															2016/07/07	10,793件			

特許情報の開示は日本企業誘致に対して即効性があるものでもなく、ASEAN各庁にとって多大なリソースを必要とする高負荷の作業と推測される。大がかりなシステムの支援という側面だけでなく、各種の「日常業務」を高品質に実現できるためのASEAN各国への支援もJPOにはお願いしたい。

**ご清聴ありがとうございました**